

令和2年度 保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	2年度		元年度		増減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区総合調整事業	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0
2	「利用しやすい区役所」推進事業	10,022	10,022	9,603	9,603	419	419
3	窓口サービス向上事業	683	683	724	724	41	41
4	広聴の区民協働事業	832	832	599	119	233	713
5	広報推進事業	726	342	1,597	1,449	871	1,107
6	歴史浪漫ほ도가や事業	2,667	2,667	2,719	2,719	52	52
7	横浜国立大学留学生の地域交流推進事業	665	665	571	571	94	94
8	鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業	5,000	5,000	0	0	5,000	5,000
9	保土ヶ谷商工業支援事業	578	578	668	668	90	90
10	エコ活動推進事業	770	770	2,671	2,671	1,901	1,901
11	地産地消推進事業	408	408	450	450	42	42
12	ほ도가や区民まつり	4,900	4,900	4,800	4,800	100	100
13	自治会町内会支援事業	3,735	3,735	3,391	3,391	344	344
14	ほ도가や 元気村	570	570	611	611	41	41
15	国際文化理解事業	948	948	1,300	1,300	352	352
16	花薫るきれいな街ほ도가や事業	4,842	4,842	4,492	4,492	350	350
17	災害対策推進事業 【20万区民の自助・共助による減災運動】	10,613	10,613	12,390	12,390	1,777	1,777
18	保土ヶ谷区地域防犯力向上事業	5,964	5,916	5,546	5,498	418	418
19	交通安全対策事業	4,384	4,384	7,524	3,524	3,140	860
20	市民活動支援事業	4,149	4,149	4,616	4,616	467	467
21	はぐくみプロジェクト	3,140	3,140	2,139	2,139	1,001	1,001
22	読書活動推進事業	750	750	650	650	100	100
23	保土ヶ谷区芸術の街	2,747	2,747	3,047	3,047	300	300
24	スポーツの街ほ도가や推進事業	4,063	4,063	2,951	2,951	1,112	1,112
25	みんなで育む がやっこ事業	1,076	1,076	1,085	1,085	9	9
26	青少年健全育成事業	456	456	306	306	150	150

令和2年度 保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画番号	事業名	2年度		元年度		増減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	がやっこキッズ学び育み事業	2,950	2,950	2,329	2,329	621	621
28	ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～	6,062	6,062	5,304	5,304	758	758
29	子どもを守ろう！地域子育てつながり事業	2,037	2,037	2,103	2,103	66	66
30	ほどがや歯っぴいHealth事業 【旧：保土ヶ谷8020歯っぴい事業】	1,400	1,400	1,183	1,183	217	217
31	ほどがや元気づくり事業	4,380	4,380	4,168	4,168	212	212
32	輝けシニア！2025事業	1,429	1,429	643	643	786	786
33	保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業	689	689	689	689	0	0
34	障害者地域支えあい連携推進事業	987	987	1,017	1,017	30	30
35	ほどがや花のおもてなし事業	812	812	0	0	812	812
36	暮らしの衛生サポート事業	1,357	1,357	1,066	1,066	291	291
37	保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業	923	923	2,089	2,089	1,166	1,166
38	地域見守り推進事業	1,268	1,268	1,274	1,274	6	6

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 総務 課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	その他	事業開始年度	平成12年度
------	--------	---------	-----	--------	--------

事業名
区総合調整事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,000					2,000
前年度	2,000					2,000
増減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	2,000	2,000	2,000	予	事業費	2,000	2,000
算	メリット+一般財源	2,000	2,000	2,000	算	一般財源	2,000	2,000
決	事業費	1,840	1,610	2,590	方針に関する決裁種別()			
算	メリット+一般財源	1,840	1,610	2,590	有:件名()、日付(年 月)			
(無)								

事業の概要(目的)	保土ヶ谷区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、予算編成時に想定していなかった緊急的・突発的な課題に対して、機動的かつ柔軟に対応します。
-----------	--

（説明）

1 地域の課題等	保土ヶ谷区では、区民の皆様の暮らしの安全・安心を確保するとともに、誰もが健やかに暮らせるまちづくりを進めるため、地域課題やニーズを踏まえて各種事業を立案・展開しています。社会情勢の変化等により、予算編成後に緊急的・突発的な課題が生じることもあり、必要性や重要性によっては、限られた予算の中で速やかな対応が求められます。
----------	---

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた組織運営 信頼される区役所づくり
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

平成27年度：防犯カメラ監視装置更新ほか
 平成28年度：がやっこキッズICTやる気育み事業ほか
 平成29年度：イコットハウス改修委託ほか
 平成30年度：こどもの遊び場改修委託ほか

【実施内容】

緊急的・突発的な課題に迅速に対応します。
 緊急対応経費 2,000千円

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
緊急対応経費	自 2,000	自 2,000	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,000	2,000	0	
内 自主企画事業費	2,000	2,000	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

過年度決算額

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大友康明	係長 安室 愛	予算調整係 糸川 卓
--------------------	------------	------------	---------------

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 総務 課]

No.	2
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成21年度
------	--------	---------	----------------	--------	--------

事業名	「利用しやすい区役所」推進事業
-----	-----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	10,022					10,022
前年度	9,603					9,603
増減	419	0	0	0	0	419

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	16,038	14,355	13,128	予 事業費	10,000	10,000
算 メリット+一般財源	16,038	14,355	13,128	算 一般財源	10,000	10,000
決 事業費	19,467	16,564	16,208			
算 メリット+一般財源	19,467	16,564	16,208			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
(無)

事業の概要 (目的)	区民の皆様が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	区庁舎をはじめ区内の区民利用施設には、日々多くのお客様が来庁されます。建物の老朽化や狭あい化が進んでいる中、安心して快適に利用できる施設環境の整備・改善が求められています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた組織運営 信頼される区役所づくり
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】
区庁舎・区民利用施設の環境整備は、施設の老朽化や狭あい化に応じて対応しています。今後も継続して整備・改善に取り組めます。

- 【実施内容】
- 区庁舎等環境改善事業
老朽化に対する改修、待合や事務スペースの改善など、区庁舎や区民利用施設等の環境改善を実施します。
 - AED配置事業
区庁舎と土木事務所にAEDを配置します。
 - 電子区役所推進事業
区庁舎内の効率的な行政運営を推進するため、情報機器の整備やGIS環境の整備及び維持管理を行います。
 - 施設案内掲示維持管理
区庁舎・区民利用施設などの案内掲示の破損や老朽化に対応し、わかりやすい案内表示の維持管理を進めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区庁舎等環境改善事業	自 8,339	自 8,730	391	改修内容精査による減
AED配置事業	自 273	自 273	0	
電子区役所推進事業	自 1,210	自 400	810	実績に基づく増
施設案内掲示維持管理	自 200	自 200	0	
			0	
			0	
事業費合計	10,022	9,603	419	
内 自主企画事業費	10,022	9,603	419	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

過年度決算額

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	大友康明	安室 愛	系川 卓

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 総務 課]

No.	3
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成6年度
------	--------	---------	----------	--------	-------

事業名 窓口サービス向上事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 3
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	683					683
前年度	724					724
増△減	△ 41	0	0	0	0	△ 41

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	624	624	724	予算	事業費	683	683
	メリット+一般財源	624	624	724		一般財源	683	683
決算	事業費	340	416	528	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	340	416	528	有:件名()、日付(年 月)			
無								

事業の概要 (目的)	職員の応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、業務改善に取り組むことで、職員一人ひとりが区民の皆さまへの傾聴の姿勢を持ち、丁寧かつ迅速な対応を基本としたサービスの提供を行うことのできる、区民の皆さまから信頼される区役所づくりに取り組みます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

・30年度窓口サービス満足度調査においては、「満足+やや満足」の割合が99%という結果となりました。常にマナー研修などを通じて職員自身の応対スキルの見直し・改善を行い、ホスピタリティの向上に一層取り組む必要があります。

・信頼される区役所となるためには、まず自身の業務に係る知識・スキルを身に付け適切に職務を遂行することや、他課の事業を知り課を越えた連携等により業務改善に取り組み、事業効果を最大限に発揮することが必要です。また、全ての職員が人権感覚を身に付けていくことも必要です。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係

令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 ◆信頼される区役所づくり「来庁者へのサービスの充実」、「チーム保土ヶ谷」で区役所全体のチーム力アップ

3 根拠法令・要綱等

横浜市区役所窓口サービス標準、横浜市職員人権啓発推進要綱、保土ヶ谷区改革推進委員会設置要綱

【実績の推移・今後見込み】

窓口サービス満足度調査 (保土ヶ谷区)

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込
保土ヶ谷区	98.3%	96.3%	99.3%	99.0%	99.3%
18区平均	96.7%	97.2%	97.2%	97.6%	

【実施内容】

- ①職員接遇研修
職員一人ひとりが行政のプロとして、区民の皆さまの要望や意見にしっかりと耳を傾け、迅速・丁寧・的確に対応できるよう、応対マナースキルの向上を図ります。
応対マナー研修：6～7月、クレーム対応研修：9～10月、ベテラン職員向けCSリーダー研修9～10月
- ②人権啓発研修
職員の人権感覚の向上を図るため、人権啓発研修を実施します。また西区と合同で、人権啓発講演会を開催します。
ア 人権啓発講演会：西区と合同で実施（11月～12月）
イ 責任職・職員合同人権啓発研修の開催（10～12月）
- ③チーム保土ヶ谷（改革推進委員会等）
ア 信頼され、親しまれる区役所づくりに向け、課を超えて編成されたプロジェクトを中心に、業務改善に取り組みます。取組を通じて、区全体のチーム力と職員満足度、お客さま満足度の向上を目指します。（通年）
イ 職員が職位・役割に応じた力を発揮できるよう、業務知識・スキルアップのための研修を実施します。（通年）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
人材育成強化事業	自 568	自 584	△ 16	H30年度実績に基づく減
チーム保土ヶ谷	自 115	自 140	△ 25	H30年度実績に基づく減
			0	
事業費合計	683	724	△ 41	
内 自主企画事業費	683	724	△ 41	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	大友 康明	永井 俊雄	瀧尾 佐知子

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 区政推進 課]

No.	4
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名 広聴の区民協働事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 6
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業 <input type="radio"/>		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	832					832
前年度	599		480			119
増△減	233	0	△480	0	0	713

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	772	873	1,056	予 算	840	840
メリット+一般財源	244	105	1,056	算	840	840
事業費	1,305	987	1,034	方針に関する決裁 種別()		
決 算	1,027	728	1,034	有:件名()、日付(年月)		
メリット+一般財源				無		

事業の概要 (目的)	「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

区民会議は、区民相互が話し合いにより合意形成をし、「住みよい保土ケ谷」を実現させていく任意団体です。区民の意見要望を市・区政に反映させる有効な手段の一つであり、区民の区民会議活動に対する期待は大きなものがあります。区民が集まって地域課題を検討する「地域のつどい」は前年に引き続き、6か所で延べ756人と多くの参加者がありました。区民会議との協働契約締結を受けて、住み良いまちづくりをより一層推進するために区民会議と区役所がさらに連携・協力していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係 令和元年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支え合いの推進」「魅力あるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 保土ケ谷区の「住み良いまちづくり活動」に関する協働契約、保土ケ谷区運営方針

【実績の推移・今後見込み】 ・区民会議		28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度見込	3年度見込
「やまびこ」発行		7,000部	14,000部	7,000部	14,000部	7,000部	14,000部
地域のつどい(行政職員除く)		615名	610名	654名	703名	700名	700名
区民のつどい		420名	150名(※)	500名	500名	500名	500名

※岩間市民プラザにて開催

【実施内容】
 ◇地域のつどい : 連合町内会との共催で、区内を6地域に分け、地域の課題などについて区民相互で話合う。6月頃実施。
 ◇区民のつどい : 区民会議の活動報告等を実施。全区民対象500名程度が参加。11～12月頃実施。
 ◇「やまびこ」発行 : 区民会議の活動報告や今後の活動予定などを掲載。区内全自治会・町内会に回覧を依頼。区民会議1期2年間で3回発行。A3判二つ折り4ページ 約7,000部印刷。区民からの認知度をさらに高めるため、29年度よりカラー印刷とし、PRを実施。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民のつどい	86	66	20	講師謝金
地域のつどい	14	0	14	ポスター色紙など
ニュースやまびこ作成	106	191	△85	発行回数が1回のため減
やまびこ通信作成	300	0	300	外部委託による増
分科会活動	326	292	34	啓発物品製作など
若者向け広報の充実	0	50	△50	広報推進事業への統合による減
事業費合計	832	599	233	
内 自主企画事業費	832	599	233	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

「地域のつどい」「区民のつどい」過去参加者数、業者から徴収した参考見積書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	宮本 薫	河村 幸織	南宮 由伊

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	広報推進事業
-----	--------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	726		384		342
前年度	1,597		148		1,449
増△減	△ 871	0	236	0	△ 1,107

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	1,404	0	1,722	予算 事業費	2,103	636
決算 メリット+一般財源	1,274	0	1,574	決算 一般財源	1,571	252
決算 事業費	1,752	0	0	方針に関する決裁 種別()		
決算 メリット+一般財源	1,604	0	0	有:件名()、日付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>情報化が進む中、より多くの方に区からの情報を届けるためには、ツイッターやインスタグラムのフォロワーを増やしていくことや、受け手に伝わりやすい説明・案内の技術やデザインスキルを職員が習得する必要があります。また、保土ケ谷区への転入手続き時、生活に必要な情報や区からのお知らせを漏れなくスムーズに提供する必要があります。</p> <p>地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等 6 区民要望</p>
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた組織運営「信頼される区役所づくり」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】						
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	
転入者セット 作成・配布部数	4,000	3,500	3,500	5,000	5,000	
若者向け広報の充実						
区ホームページ アクセス件数	1,571,558	1,504,837	1,478,977	1,550,000	1,600,000	
ツイッター フォロワー数	1,900	2,100	2,450	2,800	3,200	
インスタグラム フォロワー数	-	129	800	1,200	1,800	
ガイドマップ 発行部数 ※隔年発行	30,000	0	0	23,000	0	

- 【実施内容】
- 転入者セットの作成
ガイドマップ・防災マップ・自治会町内会加入案内などの印刷物をまとめた「転入者セット」を作成し、戸籍課での手続き時に配布します。
 - 若者向け広報の充実
ツイッター、インスタグラムなど様々な媒体を利用した情報発信を行います。保土ケ谷区の魅力発信のための写真データ集を作成し、ホームページプロモーションエリアほかで活用します。写真データ作成にあたり、保土ケ谷区民写真展にて賞を受賞された方などに撮影謝金をお支払いします。
 - ガイドマップの配布（発行年ではないため、在庫を活用）
 - 広報マインド研修の実施
職員の広報マインド醸成のため、研修を実施します。
 - 統計便覧作成
保土ケ谷区に関する基礎的な統計情報を掲載する統計便覧を作成し、区民に提供します。

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
転入者セットの作成	自 155	0	155	封入委託ほかの増	
若者向け広報の充実	自 291	0	291	事業統合による増	
ガイドマップの発行	0	自 1,597	△ 1,597	発行年度ではないための減	
広報マインド研修	自 130	0	130	研修委託の増	
統計便覧作成	自 150	0	150	事業統合による増	
事業費合計	726	1,597	△ 871		
内 自主企画事業費	726	1,597	△ 871		
内 重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 宮本 薫	係長 河村 幸織	広報相談係 松井 香寿美
--------------------	---------	----------	--------------

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 区政推進 課]

No.	6
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成18年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	歴史浪漫ほどがや事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 7 事業評価 書番号
-----	------------	------	---------------------------	------------------------------

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,667					2,667
前年度	2,719					2,719
増△減	△ 52	0	0	0	0	△ 52

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
メリット+一般財源	1,335	1,710	2,035	一般財源	2,500	2,500
決算				方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月)		
事業費	1,289	1,432	1,788			
メリット+一般財源	1,289	1,432	1,788			

事業の概要 (目的)	旧東海道の宿場町に代表される保土ケ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めます。
------------	---

(説明)				
1 地域の課題等	<p>1 案内や休憩所の充実、沿道の商業施設との協働など、旧東海道を歩きやすくし、より多くの方に保土ケ谷区の歴史的魅力を知っていただくことが必要です。</p> <p>2 旧東海道をテーマに活動している市民団体が多数あり、活動も活発です。今後は、新たな地域資源の発掘、魅力の発信についても進める必要があります。</p>			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望 8 その他			
2 運営方針等との関係	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度保土ケ谷区運営方針目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」 保土ケ谷区まちづくり計画(都市計画マスタープラン区プラン)Ⅱまちづくりビジョン 平成18年度 歴史まちなみ基本構想 まちづくり施策の進め方 			
3 根拠法令・要綱等	なし			
【実績の推移・今後見込み】				
平成29年度	区民まつりでのPRブース出展、区民との協働による旧東海道（保土ケ谷宿）プロモーション、保土ケ谷歴史まちあるき、魅力発信グッズ（のぼり、タペストリー）作成、まちの魅力発信拠点整備			
平成30年度	区民まつりでのPRブース出展、区民との協働による旧東海道（保土ケ谷宿）プロモーション、保土ケ谷歴史まちあるき、まちの魅力発信拠点運営			
令和元年度	区民まつりでのPRブース出展、区民との協働による旧東海道（保土ケ谷宿）プロモーション、保土ケ谷歴史まちあるき、若年層に向けた浮世絵講座の開催、まちの魅力発信拠点運営			
【実施内容】				
<p>(1) 歩きやすい街道づくり 松並木、案内サイン等の維持管理</p> <p>(2) 沿道魅力アップ事業 (ア) まちの魅力発信拠点運営委託 (イ) ウォーキング・体験イベント（保土ケ谷歴史まちあるき、まちかど博物館スタンプラリー、若年層向け浮世絵摺り講座） (ウ) 旧東海道魅力発信グッズ作成</p>				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
歩きやすい街道づくり	自 1,300	自 1,600	△ 300	検討委託終了による減
沿道魅力アップ事業	自 1,367	自 1,119	248	まちあるきパンフ増刷、浮世絵講座見直しによる増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,667	2,719	△ 52	
内 自主企画事業費	2,667	2,719	△ 52	
訳 重点事業	0	0	0	
【根拠とするデータ等】				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 宮本 薫	係長 廣澤 美津江	企画調整 係 遊亀 佳孝
--------------------	------------	--------------	-----------------

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 区政推進課]

No.	7
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和元年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名
横浜国立大学留学生の地域交流推進事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
8	

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	665					665
前年度	571					571
増減	94	0	0	0	0	94

歳出				歳出	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度	令和4年度
予算	0	0	0	665	665
決算	0	0	0	665	665

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年 月)
(無)

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と留学生との交流を通じて、地域の活性化を図ります。 ・地域での活動やイベントへの参加などを通じ、留学生が日本の文化に触れる機会を増やすことで、日本や横浜、保土ヶ谷の魅力を再発見してもらうとともに、留学生が地域に対して、自国の文化を発信する機会を増やすことにより、地域との交流を促進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜国立大学に在籍する留学生が地域で行われる伝統行事やイベント等に参加できる環境が十分に整備されていません。 ・留学生が地域の伝統行事やイベント等、日本特有の文化に触れた際、理解を深めてもらうため内容に係る解説が必要です。 ・留学生が伝統行事やイベント等に参加するための衣装等を所持していません。
----------	---

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 つながり・支えあいの推進
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

○横浜国立大学は令和元年度時点で、世界76ヶ国・地域から991名の留学生を受け入れており、全学生のうち留学生が占める割合は約10%と大変高い比率となっています。

○留学生が地域の活動やイベントに関わり、地域と交流を持つことで、留学生が日本の文化により深く触れることができ、日本の魅力を再発見してもらうことができます。また、地域の活性化につながります。

○地域主催の伝統行事への参加(平成30年度(試行)～令和元年度)

納涼盆踊り大会、昔あそびのつどい、餅つき大会

○留学生による自国の文化発信(令和元年度)

ほどがや花フェスタ、ほどがや区民まつり、ほどがや国際フェスタ

【実施内容】

○地域主催の伝統行事への参加

○留学生による自国の文化発信(ほどがや花フェスタ、ほどがや区民まつり及びほどがや国際フェスタ)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域交流事業	自 665	自 571	94	実績に基づく増
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	665	571	94	
内 自主企画事業費	665	571	94	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 宮本 薫	係長 足立 裕樹	企画調整 係 鈴木 達也
--------------------	------------	-------------	-----------------

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 区政推進課]

No.	8
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業
-----	---------------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	1
36	3

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,000					5,000
前年度						0
増△減	5,000	0	0	0	0	5,000

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費				予算	事業費	4,000	
	メリット+一般財源					一般財源	4,000	
決算	事業費				方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源				有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度から利用可能となる星川駅高架下空間において、駅周辺の歴史を取り入れたオープンスペースの整備を行うための検討を行う。 ・地区の歴史を生かし、魅力向上を図るためのまちづくりガイドラインを策定する。 ・市民活動や地域交流のための拠点づくりを進め、区心部にふさわしい機能強化を図る。
-----------	--

(説明)				
1 地域の課題等	<p>1 区内・区外からの来街者など、より多くの方々に歴史的魅力を発信していく必要がある。</p> <p>2 旧東海道を地域資源として生かしたまちづくりの他に、新たな地域資源の発掘、魅力の発信についても進める必要がある。</p> <p>3 星川駅周辺地区の中心に位置する高架下空間を、駅周辺の区役所等の公共施設と連携し活用することで区心部の機能強化を図る必要がある。</p>			
地域の課題等の収集手段	2 陳情	3 地区担当制度	6 区民要望	
2 運営方針等との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度保土ヶ谷区運営方針目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」 ・保土ヶ谷区まちづくり計画(都市計画マスタープラン区プラン)Ⅲまちづくりの方針 ・保土ヶ谷区バリアフリー基本構想 			
3 根拠法令・要綱等	なし			
【実績の推移・今後見込み】				
<p>成果物による相鉄との調整ができるよう、星川駅高架下の広場等の空間において、駅周辺の歴史を取り入れたオープンスペースの検討や、地域交流が活性化するための機能導入の検討を行う。</p> <p>昨年度までの検討内容をとりまとめ、星川駅周辺まちづくりガイドラインを策定する。</p>				
【実施内容】				
<p>星川駅高架下の活用検討</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 駅周辺の歴史についての調査 2 歴史や地域交流などを踏まえた、空間活用の提案 <p>まちづくりガイドラインの策定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 昨年度までに検討した案に対する意見募集結果を取りまとめ、懇談会にて検討を行う。 2 懇談会での検討結果を取りまとめ、ガイドラインを策定する。 				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
星川駅高架下の活用検討				新規検討による増
まちづくりガイドラインの策定				新規検討による増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,000	0	5,000	
内訳	5,000	0	5,000	
重点事業	0	0	0	
【根拠とするデータ等】				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	宮本 薫	廣澤 美津江	遊亀 佳孝 土方 悠子

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 地域振興 課]

No.	9
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成25年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名
保土ヶ谷商工業支援事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	578					578
前年度	668					668
増減	90	0	0	0	0	90

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	535	708	708	予算	事業費	578	578
	メリット+一般財源	535	708	708		一般財源	578	578
決算	事業費	367	447	322	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	367	447	322	有:件名()、日付(年)			
				無				

事業の概要(目的)	地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援します。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行っていきます。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	近年、商店街は利用者の減少が続く、厳しい経営状況に置かれています。また、それに伴い、区内商店会数は減少傾向にあります。(令和元年4月1日現在 区商連加盟商店会数：13) 地域全体の活性化につなげていくためにも、地域ぐるみで商店街の活性化を図る必要があります。また、地域経済の活性化に向けては、区内製造業等の支援も同時に行っていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針「魅力あるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例、横浜市中小企業振興基本条例

【実績の推移・今後見込み】【実施内容】

ほどがや商店街元気市
区商連加盟の個店が、区主催イベントや商店街主催イベントの際、一堂に会し、商店街をPRする場を提供しています。

また、区主催イベントの際に、工業会のPRブースを元気市に併設しています。

開催	開催場所	商店数	商店街	開催	開催場所	商店数	商店街		
平成28年度	5月21日	花フェスタ	6店舗	5	平成30年度	5月19日	花フェスタ	4店舗	3
	10月15日	区民まつり	8店舗	5		8月26日	西谷五好ハル	2店舗	1
	10月29日	笹山商店街	5店舗	4		10月20日	区民まつり	8店舗	4
	3月11日	和田町商店街	5店舗	5		11月10日	和田町商店街	3店舗	3
平成29年度	5月20日	花フェスタ	3店舗	3	令和元年度	5月18日	花フェスタ	5店舗	4
	10月14日	区民まつり	7店舗	3		8月25日	西谷五好ハル	2店舗	2
	10月28日	笹山商店街	3店舗	3		10月19日	区民まつり	8店舗	4
	11月11日	和田町商店街	3店舗	3		11月9日	和田町商店街	3店舗	3
令和2年度	5月	花フェスタ	5店舗	未定	令和2年度	5月	花フェスタ	5店舗	未定
	10月	区民まつり	8店舗	未定		10月	区民まつり	8店舗	未定

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保土ヶ谷商工業支援事業	自 578	自 668	90	事業内容見直しによる減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	578	668	90	
内 自主企画事業費	578	668	90	
重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大山 敏彦	係長 関 弥生子	地域活動係 岸本 一平
--------------------	-------------	-------------	----------------

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】
 [保土ヶ谷区 区政推進 課]

No. 10

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 エコ活動推進事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 10 2	事業評価 書番号 11 事業評価 書番号
	重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	770					770
前年度	2,671					2,671
増減	1,901	0	0	0	0	1,901

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
					令和3年度	令和4年度
予 事業費	1,274	2,492	1,030	予 事業費	1,575	1,575
算 メリット+一般財源	1,274	2,492	1,030	算 一般財源	1,575	1,575
決 事業費	854	2,375	724			
算 メリット+一般財源	854	2,375	724			

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年 月)
 冊

事業の概要 (目的)
 横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年度までに22%、2030年度までに30%、2050年度までに80%以上削減(2013年度比)」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行います。

(説明)

1 地域の課題等	<p>パリ協定・SDGs 採択後の世界の潮流や、国の地球温暖化対策計画・適応計画の策定、気候変動の影響等を踏まえ、横浜市では、横浜市地球温暖化対策実行計画に基づき、温暖化対策(緩和策・適応策)・エネルギー施策の更なる強化に取り組んでいます。また、区においても市の計画に基づいた温室効果ガス削減への取組推進を行っています。本市は家庭部門からの二酸化炭素排出量の割合が大きい(横浜市:24.0%、全国:15.8%)ため、幅広い層への情報提供と啓発を進め、区民一人ひとりの温暖化対策行動を促進する必要があります。また、区民への普及啓発をより広げていくため、区民、事業者、行政の協働による環境保全に向けた実践行動の普及啓発等を活性化させる必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 暮らしの安全・安心の確保 生活の安全・安心
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
ネットワーク 運営・推進	運営・推進	運営・推進	運営・推進	運営・推進	運営・推進	運営・推進	運営・推進	運営・推進
啓発講座 ・イベント	6回	6回	5回	5回	3回	3回	4回	3回

【実施内容】

- 保土ヶ谷区ヨコハマ3R夢・地球温暖化対策推進本部
 区の地球温暖化対策推進組織である「保土ヶ谷区ヨコハマ3R夢・地球温暖化対策推進本部」において、積極的な情報共有を行うとともに、「ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワーク」会員への情報発信を行い、身近な場での環境活動への参加機会を増やします。「ヨコハマ3R夢」と連携し、ごみの減量と温暖化対策の取組を一体的に進めます。
- 講座等の実施
 継続的な温暖化対策に向けて、若年層を主なターゲットにした講座等を開催します。また、多くの区民が参加する「花フェスタ」に出展し、興味をひく展示等を行うことで、幅広い層への温暖化対策啓発を行います。さらに、区民一人ひとりが温暖化対策について考える機会を増やせるよう、区民会議環境分科会や関係機関と連携した普及啓発を進めます。なお、事業実施にあたっては、横浜市地球温暖化対策推進協議会と事業実施協定を締結する等、関係団体等と協働で取り組みます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワーク	自 20	自 20	0	
啓発イベントの実施	自 0	自 2,100	2,100	内容見直しによる減
講座等の実施	自 750	自 551	199	元年度実績による増
事業費合計	770	2,671	1,901	
内 自主企画事業費	770	2,671	1,901	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市温室効果ガス排出量 平成29年度(速報値)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	宮本 薫	足立 裕樹	様田 佳那子

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 区政推進課]

No.	11
-----	----

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	地産地消推進事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	12
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	408					408
前年度	450					450
増減	42	0	0	0	0	42

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	393	270	320	予 事業費	408	408
算 メリット+一般財源	393	270	320	算 一般財源	408	408
決 事業費	344	324	335	方針に関する決裁 種別()		
算 メリット+一般財源	344	324	335	有:件名()、日付(年 月)		

事業の概要 (目的)	農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めます。
------------	--

（説明）

1 地域の課題等	・区内各所で多くの農家が種々の作物を生産し、また、「JA」支店をはじめ直売所も多く存在しているが、区北西部に集中し、必ずしも区民全体に周知されてはおりません。そのため、区内直売所の周知や区役所前、ごとういち、保土ヶ谷公園などで開催されている朝市の開催や、花フェスタ、区民まつりでの野菜販売などを通じて、ほ도가や産野菜の存在を引き続き周知する必要があり、地産地消の取組をさらに強化することが課題となっています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 魅力あるまちづくり
-------------	--------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例
------------	----------------------------

【実績の推移・今後見込み】

農家・地域活動団体・区役所が協力し、保土ヶ谷区民が「農」を身近に感じられる取組を通して、ほ도가や産野菜の購入の機会を図り、地産地消の取組を進め、地域の活性化を図ります。

【実施内容】

- ・農家・地域活動団体・区が協力して区役所前で朝市（18回）を開催し、ほ도가や産野菜の販売により、来場者と農家の皆さんとの交流、相互のふれあいを通して地域の活性化を図ります。
- ・花フェスタ、区民まつりに出展、野菜種の配布を通じて地産地消の啓発に努めます。
- ・区が主催するイベント等で朝市の日程を添付した野菜の種を配布し、地産地消のPRを行います。
- ・区内農産物直売所やほ도가や産野菜を使っている飲食店を掲載した「農産物直売所マップ」を配布します。
- ・区内小学校、区役所前広場での野菜の育成を通じて地産地消の啓発を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ほ도가や朝市事業	自 180	自 180	0	
地産地消PR	自 228	自 270	42	野菜の種購入実績に基づく減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	408	450	42	
内 自主企画事業費	408	450	42	
重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 宮本 薫	係長 大石 幸二	企画調整係 新宮 貴宏
--------------------	---------	----------	-------------

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 地域振興 課]

No.	12
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	ほ도가や区民まつり
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,900					4,900
前年度	4,800					4,800
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	4,100	4,200	4,500	予算	事業費	4,900	4,900
	メリット+一般財源	4,100	4,200	4,500		一般財源	4,900	4,900
決算	事業費	4,074	4,165	4,782	決算	事業費		
	メリット+一般財源	4,074	4,165	4,782		一般財源		

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、目付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	「わがまち保土ケ谷」意識を育むとともに、地域コミュニティの再生を図るために、区民の交流、ふれあいを促進する必要があります。そのため、区民相互の交流のきっかけとなるイベントを開催し、子どもや高齢者でも参加しやすい体験型イベントの充実を図ります。 また、区民と区内で様々な活動をしている団体との交流を促進するため、区内各種団体の活動をPRする場「区民バザール」を開催します。
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針「つながり・支えあいの推進」
3 根拠法令・要綱等	ほ도가や区民まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込み	令和2年度見込み
来場者数	55,000人	50,000人	54,000人	55,000人	55,000人

【実施内容】

「ほ도가や区民まつり」
保土ケ谷区民や保土ケ谷区内各団体で構成する「ほ도가や区民まつり実行委員会」により、開催日・開催場所・内容等を決定し、実施します。
 ■開催日 令和2年10月予定
 ■場所 県立保土ケ谷公園、かながわアートホール
 ■内容 実行委員会で検討
 ■対象 区民

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ほ도가や区民まつり	自 4,900	自 4,800	100	消費税、物価の上昇に伴う増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,900	4,800	100	
内 自主企画事業費	4,900	4,800	100	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大山 敏彦	関 弥生子	溝口 雅巳

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 地域振興 課]

No.	13
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 自治会町内会支援事業	特記事項 中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 14 事業評価 書番号
-------------------	--	---------------------------	-------------------------------

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,735					3,735
前年度	3,391					3,391
増△減	344	0	0	0	0	344

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,729	2,520	2,871	予算	事業費	3,735	3,735
	メリット＋一般財源	1,729	2,520	2,871		一般財源	3,735	3,735
決算	事業費	1,666	2,475	3,394	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、目付(年月) 無			
	メリット＋一般財源	1,666	2,475	3,394				

事業の概要 (目的)	地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支え、市政・区政推進の基盤となることを目的とします。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの情報提供を広く効率的に行うにあたり、回覧や掲示など自治会町内会の協力を受けています。これらの依頼業務によって自治会町内会の自主活動を阻害することのないよう、量の削減及び配送の一元化が必要とされています。 			
----------	--	--	--	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針「つながり・支えあいの推進」
-------------	------------------------------

3 根拠法令・要綱等	保土ケ谷区自治会町内会長永年在職者表彰要綱
------------	-----------------------

【実績の推移・今後見込み】

- 自治会町内会長感謝会について、感謝会の開催及び永年在職者の表彰により、日頃の市政・区政への協力に感謝の意を示し、自治会町内会との関係強化及び自治会町内会の育成に寄与しており、今後も継続します。
- 配送ルートについて、行政からの配付物等を月1回に集約することで、自治会町内会の負担を軽減する 効果があるため、今後も継続します。

【実施内容】

- 自治会町内会長感謝会
内 容：各地区の代表者として、地域活動の中心的役割を担う自治会町内会長に、日頃の市政・区政への協力に感謝の意を示すため、感謝会の開催及び永年在職者の表彰を行います。
実施回数：年1回（3月頃）
対 象 者：自治会町内会長
- 配送ルート（送付）
内 容：自治会町内会の自主活動を阻害することのないよう、回覧・掲示物等の配送を集約します。
実施回数：年10回（区連会定例会が休会の8月及び12月を除く）
対 象 者：自治会町内会長・自治会町内会回覧・掲示物担当者等
- 配送ルート（仕分）
内 容：配送ルートで送付する回覧・掲示物を、自治会ごとの必要部数で仕分け梱包します。
実施回数：年10回（区連会定例会が休会の8月及び12月を除く）
対 象 者：自治会町内会長・自治会町内会回覧・掲示物担当者等

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自治会町内会長感謝会	自 1,405	自 1,208	197	表彰見込み数の増
配送ルート（送付・仕分）	自 2,330	自 2,183	147	輸送単価上昇による増
			0	
			0	
事業費合計	3,735	3,391	344	
内 自主企画事業費	3,735	3,391	344	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
自治会町内会現況届、住民組織台帳

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大山 敏彦	関 弥生子	岸本 一平

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】
 [保土ヶ谷区 地域振興 課]

No. 14

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成21年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名 ほ도가や 元気村	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 33 1	事業評価 書番号 16
	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 33 1	事業評価 書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	570					570
前年度	611					611
増減	41	0	0	0	0	41

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	480	500	640	予 算	570	570
実 績	480	500	640	実 績	570	570
決 算	480	500	597	決 算		
決 算	480	500	597	決 算		

事業の概要 (目的) 保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用し、児童・生徒をはじめ多くの区民の多世代交流の場を作ります。また、実行委員(ボランティア)による自主企画事業の企画・運営等の活動を通して、地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作ります。

(説明)
 1 地域の課題等
 ・近隣や世代間など地域のつながりが希薄化している中、地域交流ができる場や講座が必要であり、区内唯一の貴重な水田における元気村での活動を通して多世代交流の場が求められています。
 ・地域で生じた課題は、その地域で解決できるよう、主体的に行動する地域の担い手の育成が必要であり、区内唯一の水田における元気村での活動を通して、地域の担い手として活躍していただくきっかけを作ることが求められています。
 地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口応対等
 2 運営方針等との関係 令和元年度保土ヶ谷区運営方針「つながり、支えあいの推進」
 3 根拠法令・要綱等 ほ도가や 元気村事業実施要領、横浜市環境管理計画

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
ボランティア実行委員	29	33	32	34	36	36
どろんこ教室申込者数	46	51	49	56	54	55
元気村イベント参加者	約1,400	約1,600	約1,400	約1,600	約1,700	約1,700

【実施内容】
 1 概要
 地域の新たな担い手が元気に活躍していただくきっかけとして、保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用し、児童・生徒をはじめ多くの区民と交流の場(元気村)をつくります。
 2 実施場所
 ほ도가や 元気村(保土ヶ谷区川島町の水田・畑)、西谷地区センター等
 3 対象
 ボランティア(実行委員会):高校生以上で主に団塊の世代の方々、農業や子どもとの交流に興味のある方
 子ども:区内在住・在学の小学4年生-小学6年生 保護者同伴可
 4 内容
 ボランティアの区民が主体的に組織する実行委員会に下記の内容を委託して、ほ도가や 元気村の管理運営を実施します。
 (1)ボランティア養成講座
 新規ボランティア実行委員の募集(20名予定)、ボランティアの技術向上等を目的としたボランティア養成講座を実施します。
 (2)自主企画事業の企画・運営
 子ども向けの農に関するイベント・講座(どろんこ教室)を開催し、世代間交流を図ります。
 (3)広報・啓発(通年)
 日頃の活動や成果について、インターネットにより情報発信します。
 また、取組の成果を学校にフィードバックするとともに、活動をPRするための会報誌を作成します。
 (4)環境整備
 農家の指導のもと、水田・畑づくりを実施し、フィールドの環境整備を進めます。
 (5)設備・備品の管理(通年)
 設備の安全面・衛生面の管理及び農具等の備品の管理を行います。
 (6)実行委員につながる仕組み作り
 どろんこ教室へ参加している児童の保護者を対象に、各回の参加可能な活動への呼びかけ(体験)など、保護者の方が実行委員になりたいと考えるような取組みを検討・実施します。
 また、元気村の卒業生が再び元気村に携わり恩返しができるような仕組みを検討します。
 5 効果
 元気村の運営を区民と協働で行い地域力を高められるような人材の育成を図ります。
 また、子どもたちが自ら育てた農作物を食べることによる地産地消を通じた食育を図ります。
 さらに、地域の環境保全・生物多様性の維持につながります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ほ도가や 元気村事業	570	611	41	暑さ対策経費削減による
事業費合計	570	611	41	
内 自主企画事業費	570	611	41	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 本事業への参加者数(子ども・実行委員)の推移、ほ도가や 元気村事業実施報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大山 敏彦	係長 飯島 拓	生涯学習支援 係 ナイーム モハメドモアズ
--------------------	-------------	------------	--------------------------

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 地域振興 課]

No.	15
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	国際交流	事業開始年度	平成28年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名 国際文化理解事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価書 番号 18
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業		事業評価書 番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	948					948
前年度	1,300					1,300
増△減	△ 352	0	0	0	0	△ 352

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	800	860	1,100	予算	事業費	948	948
	メリット+一般財源	800	860	1,100		一般財源	948	948
決算	事業費	666	719	1,844	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	666	719	1,844	有:件名(パートナー都市協定)、日付(平成19年3月)			

事業の概要(目的)	国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現を目指します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	社会・経済・文化の急速なグローバル化の進展に伴い、区内にも多くの外国人が在住・在学していることや、横浜市として外資系企業や外国人観光客の誘致を積極的に展開していることから、従前にも増して多様な文化を持つ人々と共に生きる社会を目指す必要があります。 保土ヶ谷区とブルガリアはパートナー都市協定を締結しているにも関わらず認知度が低いことから、より一層、ブルガリアとの交流を深めるとともに、多文化共生のまちづくりを推進していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
国際理解特別授業実施校	3	4	4	4	4
区民向けイベント実施数	5	5	5	5	5

【実施内容】

平成19年にパートナー都市協定を締結したブルガリア共和国(ソフィア市)と友好関係にあることから、ブルガリア文化の紹介や交流を通して、ブルガリアに対する区民の理解を深めるとともに、ブルガリア紹介・交流事業をきっかけにして他国への関心を高め、区民の国際文化理解や多文化共生を推進します。

- 区内小学校における国際理解特別授業の実施
日本とブルガリア共和国との文化に対する共通点や違いに触れ、早期からの多文化共生への理解を目指し、区内小学校で国際理解特別授業を実施します。(毎年3~4校程度、6年間で段階的に区内全小学校において実施)
- ブルガリア文化に関する区民向けイベントの開催
パートナー都市協定に対する区民の認知度向上と、多文化共生についての興味・関心・意識を高めることを目的とし、区民向けのブルガリア関連イベントを実施します。企画については他都市のイベント等も参考にします。区内主要イベント(花フェスタ、区民まつり、区民芸能祭)のステージ出演等を活用した文化紹介を行います。
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした各国区民向けイベントの開催
各国に関連した区民イベントを実施し、ブルガリアだけでなく他国への関心を高め、区民の国際文化理解や多文化共生を推進し、更なる相互理解の促進につなげていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
国際理解特別授業	自 395	自 400	△ 5	実績に基づく減
ブルガリア区民向けイベント	自 453	自 800	△ 347	実績に基づく減
ダマスクローズ普及	0	自 100	△ 100	取組完了による減
各国区民向けイベント	自 100	0	100	新規取組による増
			0	
事業費合計	948	1,300	△ 352	
内 自主企画事業費	948	1,300	△ 352	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

30年度イベント実施数 等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大山 敏彦	係長 中野 正信	生涯学習支援 係 田村 優子
--------------------	-------------	-------------	-------------------

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】
 [保土ヶ谷区 地域振興 課]

No.	16
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成8年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名 花薫るきれいな街ほどがや事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書番号
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	政策番号 主な施策番号 11 6	19

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,842					4,842
前年度	4,492					4,492
増減	350	0	0	0	0	350

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
					事業費	2,968
メリット+一般財源	2,968	2,806	3,506	4,842	4,842	
決算	2,551	2,504	3,418	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年 月) 無		
メリット+一般財源	2,551	2,504	3,418			

事業の概要 (目的)	次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	・平成10年に制定された「ほどがや花憲章」とその理念をより一層周知・普及するとともに、地域と連携しながら清潔できれいな花の街ほどがやづくりを引き続き目指していく必要があります。 ・「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」の更なる推進のためには、ごみの分別や3Rに関する啓発活動が引き続き求められています。また、区内への転入者や、特に区の特徴である横浜国立大学生等の単身者や外国人居住者への継続した啓発が重要です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	ほどがや花の街推進連絡会活動補助金交付要綱、廃棄物処理法、横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理に関する条例、横浜市廃棄物処理計画、横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱防止に関する条例、区美化推進員要綱

【実績の推移・今後見込み】	花フェスタ参加者	ごみと資源の実績(原単位 人/日)												
	<table border="1"> <tr> <th>30年度</th> <th>元年度(目標)</th> <th>2年度(見込み)</th> </tr> <tr> <td>24,000人</td> <td>24,000人</td> <td>24,000人</td> </tr> </table>	30年度	元年度(目標)	2年度(見込み)	24,000人	24,000人	24,000人	<table border="1"> <tr> <th>30年度</th> <th>元年度(目標)</th> <th>2年度(見込み)</th> </tr> <tr> <td>606g</td> <td>603g</td> <td>600g</td> </tr> </table>	30年度	元年度(目標)	2年度(見込み)	606g	603g	600g
30年度	元年度(目標)	2年度(見込み)												
24,000人	24,000人	24,000人												
30年度	元年度(目標)	2年度(見込み)												
606g	603g	600g												

- 【実施内容】
- 花の街事業
 - 星川中央公園花壇の植栽管理(年に2回の植え替えの実施)
 - ほどがや花の街推進連絡会運営事業
 - 花フェスタ2020の開催(5月第3土曜日予定 星川中央公園)
 - ボランティアグループによる植栽管理(毎月第2・第4木曜日実施 区庁舎・星川中央公園花壇を管理)
 - 「清潔できれいな花の街」ポスター展の開催(区内在住・在学の小中学生対象 11月~12月頃に作品展示)
 - ほどがや秋の花探検隊の開催(区民対象 10月下旬~11月上旬)
 - 季節の花の寄せ植え教室(区民対象 10月下旬~12月上旬)
 - ほどがや花憲章に基づく花の街づくり(公共施設等への花種の配布(2500袋程度)やイベントでの花種配布(2500袋程度))
 - 3R広報・PR活動
 - 自治会町内会や小学校・保育園での出前教室、花フェスタ、区民まつり等のイベントや商業施設での分別啓発・3R行動の普及
 - 保育園と連携した食品廃棄物削減の取組として、保育園で排出される食品廃棄物を土壌混合法により分解し、食品廃棄物の排出量を削減します。
 - 外国人居住者への分別啓発として、国際交流ラウンジと協働による分別啓発イベントの開催
 - 転入単身者向け分別啓発
 - 横浜国大との協働による学生向け分別啓発説明会の開催(新入生オリエンテーション、入寮説明会(4月)、保護者説明会(2月))
 - 横浜国大との協働による不動産・大家さんへの分別啓発説明会の開催(11月)
 - 横浜国大キャンパス内における、学生向け分別啓発キャンペーンの開催(7・10・11月の年3回以上)

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
花の街事業	400	450	50	植栽量見直しによる減	
ほどがや花の街推進連絡会運営事業	3,556	3,306	250	花フェスタ事業拡充による増	
3R広報・PR活動	560	410	150	リユース食器レンタル会社変更による増	
転入・単身者向け分別啓発事業	326	326	0		
事業費合計	4,842	4,492	350		
内 自主企画事業費	4,842	4,492	350		
内 重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】
 ほどがや花フェスタ来場者数、ヨコハマ3R夢(スリム)プラン(各区、ごみと資源の減量目標と実績)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	青木 雅徳	西村 妙生	亀井 隆

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 総務 課]

No. 17

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	災害対策推進事業 【20万区民の自助・共助による減災運動】
-----	----------------------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	2
35	3
35	4
35	6

事業評価書番号	20
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	10,613					10,613
前年度	12,390					12,390
増△減	△ 1,777	0	0	0	0	△ 1,777

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	9,080	9,980	12,390	予算	事業費	11,000	11,000
	メリット+一般財源	9,080	9,980	12,390		一般財源	11,000	11,000
決算	事業費	9,007	8,386	11,990	決算	事業費		
	メリット+一般財源	9,007	8,386	11,990		一般財源		

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため、危機管理・地域防災力の向上を図る。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

○帷子川・今井川の2つの河川に沿った低地部と川を取り囲むように急傾斜の丘陵地が形成されており、起伏に富んだ地形で山坂が多いことから、地震や降雨によるがけ崩れや浸水等の被害を生じやすい。また、横浜市地震防災戦略に定める地震火災対策地域があり、震災時の出火防止に取り組む必要がある。

○局地的かつ突発的な水害時において、避難等に関する緊急情報を適切に伝達するとともに、迅速な避難所の開設等が必要である。

○震災時の避難所である地域防災拠点の開設・運営が円滑に行われるよう、支援を継続する必要がある。

○大地震からの火災被害を軽減するため、感震ブレーカーの設置に向けた効果的な広報を実施し、さらなる普及を図る必要がある。

○20万区民の自助・共助による減災運動を推進し、自助・共助の重要性を区民に認識していただき、具体的な減災行動に繋げる必要がある。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係
令和元年度保土ヶ谷区運営方針
目標達成に向けた施策「暮らしの安全・安心の確保」

3 根拠法令・要綱等
○災害対策基本法 ○水防法 ○横浜市災害対策本部条例 ○横浜市災害対策警戒本部等の設置、構成及び運営に関する要綱 ○横浜市地域防災計画 ○保土ヶ谷区防災計画 ○地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会規約 ○保土ヶ谷区災害対策対策連絡協議会要綱 ○保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク補助金交付要綱 ○保土ヶ谷区感震ブレーカー等設置推進事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

事業内容	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度見込み	2年度見込み
区災害対策警戒本部等設置回数	13回	12回	17回	12回	14回	14回
災害情報通知システム配信	24回	21回	24回	22回	23回	23回
河川水位警報システム吹鳴	3回	1回	4回	0回	2回	2回
防災講習会講師派遣回数・受講者	12回 718人	18回 861人	10回 251人	17回 591人	14回 600人	14回 600人
避難所HUG研修回数・受講者		2回 31人	3回 37人	2回 14人	3回 30人	3回 30人
地域防災拠点訓練参加者	8,691人	9,149人	7,653人	8,334人	8,500人	8,500人
感震ブレーカー設置補助(市)	0自治会 0世帯	0自治会 0世帯	10自治会 653世帯	6自治会 471世帯	8自治会 560世帯	8自治会 560世帯
感震ブレーカー設置補助(区)				29自治会 941世帯	30自治会 950世帯	30自治会 950世帯
保土ヶ谷区防災マップ作成	1,000部	15,000部	15,000部	15,000部	20,000部	15,000部
減災運動推進大会参加者	250人	160人	300人	300人	270人	300人

【実施内容】

- 1 危機管理関連事業
 - (1) 区本部体制構築：区本部体制運営（通年）、参集用タクシー借上げ（通年）、防災用優先携帯電話（通年）、区本部運営訓練（9月、1月）、災害ボランティアネットワーク活動支援（通年）、災害対策連絡協議会（5月）、天王町駅周辺水害対策連絡協議会（5月）
 - (2) 防災関連システム運用：河川水位警報システム（通年）、災害情報通知システム（通年）
 - (3) 災害医療体制構築：災害医療連絡会議（6月、2月）、災害医療連絡訓練（9月）
 - (4) 福祉避難所運営：福祉避難所開設訓練（10月）、福祉避難所連絡会（2月）
 - (5) 防災資機材置場整備：狩場町防災資機材置場の維持管理（通年）
- 2 防災・減災啓発事業
 - (1) 減災運動推進強化月間
6月：駅頭広報（風水害対策）、9月：イベント開催（震災対策）
 - (2) 減災運動推進大会（1月）
 - (3) がやっこレスキュー隊研修会（通年）
 - (4) 防災講習会講師派遣事業（通年）
 - (5) 家具転倒防止対策事業（通年）
 - (6) 小学生向け啓発リーフレット配布（4月）
 - (7) 感震プレーカー設置補助事業（4月～11月）
 - (8) 防災マップ配布・作成（通年）
- 3 地域防災拠点支援事業
 - (1) 地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会
 - (2) 地域防災拠点運営委員HUG研修会（7月）
 - (3) 地域防災拠点運営訓練支援（8月～12月）
 - (4) 防災ライセンス資機材取扱指導員派遣事業（8月～12月）
 - (5) 地域防災拠点運営委員研修会（2月）
 - (6) 地域防災拠点資機材点検・修繕事業（通年）

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
区本部体制構築事業	自	1,565	2,501	△ 936	総務局による職員用備蓄一括調達に伴う減等
防災関連システム運用事業	自	1,908	1,500	408	運用実績に基づく増
防災用優先携帯電話	自	50	50	0	
災害医療連絡会議	自	31	31	0	
災害医療体制構築事業	自	37	37	0	
福祉避難所体制構築事業	自	32	32	0	
防災資機材置場整備事業	自	1,150	1,150	0	
防災・減災啓発事業	自	4,311	6,152	△ 1,841	防災・地域福祉保健アンケート事業終了に伴う減
地域防災拠点支援事業	自	1,529	937	592	修繕実績に基づく増
事業費合計		10,613	12,390	△ 1,777	
内訳	自主企画事業費	10,613	12,390	△ 1,777	
	重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	大友 康明	三瓶 貢	石崎 卓

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	18
-----	----

[保土ケ谷区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成14年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名 保土ケ谷区地域防犯力向上事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 21
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,964		48			5,916
前年度	5,546		48			5,498
増△減	418	0	0	0	0	418

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	4,756	5,764	5,493	予算	事業費	5,964	5,964
	メリット+一般財源	4,756	5,764	5,493		一般財源	5,916	5,916
決算	事業費	3,894	4,878	4,909	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	3,894	4,878	4,909	看:件名()、日付(年 月)			
(無)								

事業の概要(目的)	警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
保土ケ谷区内の犯罪件数は、ここ数年減少傾向にあるものの、依然として年間800件近く犯罪が発生しています。また、市民意識調査においても、例年、市政への要望として「防犯対策」が上位に位置しており、市民の防犯への関心は高まっています。その中で、保土ケ谷区としては、警察や防犯協会等の関係機関と連携し、地域の防犯活動を支援するほか、啓発活動を行い、区民一人ひとりの防犯意識の高揚を図ることで、区民が安全・安心に生活できる地域社会の実現につなげ、区民の要請に応えていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係 令和元年度保土ケ谷区運営方針 暮らしの安全・安心の確保

3 根拠法令・要綱等 保土ケ谷区防犯商店街活動支援補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

保土ケ谷区内刑法犯発生件数 (単位:件)										
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
件数	1,768	1,658	1,578	1,638	1,300	1,148	1,114	946	781	
子ども110番あんしんの家協力軒数 (単位:軒)										
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
件数	1,785	1,825	1,864	1,888	1,905	1,921	1,154	1,158	1,258	

【実施内容】

- 防犯商店街活動支援事業
商店街の空き店舗等を利用して設置した多目的防犯拠点を活用して、地域の防犯力向上を図り、安全・安心なまちづくりを進めるとともに商店街や地域の活性化促進を支援するため補助金を交付します。
- 防犯啓発事業
 - 防犯物品・のぼり旗の配布
自治会町内会に対し、見守りの際に使用する防犯物品や、のぼり旗等の啓発物品を配布することで地域の防犯活動を支援します。
また、警察・防犯協会との連携のもと作成した「防犯ステッカー」について、貼付と日常業務内での見守りへの協力企業・団体を広く募り、より一層の地域防犯力向上を図ります。
 - 街頭防犯キャンペーン
警察等の関係団体と連携し、区内の犯罪動向に合わせて街頭防犯キャンペーンを展開します。
また、自治会町内会を対象にした防犯出前講座などを開催します。
 - 防犯に関するコンクールの開催
区民を対象としたコンクールを実施することを通じて、多くの区民の防犯意識の向上を図ります。
- 子ども110番あんしんの家支援事業
子どもや女性などが通学時や外出時に身の危険を感じたときに犯罪から守るため、個人や商店などの協力を得て、「子ども110番あんしんの家」事業を実施しています。また、子ども防犯の強化のため、新入学児童に防犯ブザーを配布します。
- 防犯センター事業
防犯用品の展示・貸し出し、研修会の開催により防犯意識の向上、防犯情報の収集及び発信を行うとともに、地域交流の場など防犯活動の核となる施設として活用します。建物リース終了により無償譲渡を受け、施設管理は管理運営委員会に委託します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防犯商店街活動支援事業	自 795	自 795	0	
防犯啓発事業	自 1,873	自 1,371	502	消費税の増による増
子ども110番あんしんの家支援事業	自 661	自 747	△ 86	単価の精査による減
防犯センター事業	自 2,635	自 2,633	2	消費税の増による増
			0	
事業費合計	5,964	5,546	418	
内 自主企画事業費	5,964	5,546	418	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
保土ケ谷区防犯商店街活動支援補助金交付要綱

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大山 敏彦	係長 関 弥生子	地域活動 係 岸本 一平
--------------------	-------------	-------------	-----------------

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】
 [保土ヶ谷区 地域振興 課]

No.	19
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成12年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	交通安全対策事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 22 事業評価 書番号
-----	----------	------	-----------------------------	---------------------------------

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	4,384				4,384
前年度	7,524		4,000		3,524
増減	3,140	0	4,000	0	860

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
					予 算	2,777
決 算	2,777	2,802	3,033	一般財源	4,384	4,384
予 算	2,720	2,321	2,830	方針に関する決裁 種別()		
決 算	2,720	2,321	2,830	有:件名(),日付(年 月) (無)		

事業の概要 (目的)	・交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進します。 ・駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

・保土ヶ谷区は昨年、子ども、高齢者、自転車の事故が増加したので、対象ごとに対策を立てる必要があります。
・子どもの事故を防ぐには、家庭、学校、地域における交通安全教育、啓発を引き続き取り組むとともに、夜間の子どもの交通事故を防ぐために、車のドライバーが遠くからでも視認できるよう、区内の小学校の児童に靴に貼る反射材シールを配布します。
・高齢の歩行者の乱横断等による事故が増えているので、高齢者向けの交通安全のチラシを作成し、交通安全運動キャンペーンや高齢者向けイベントで配布して、啓発に取り組みます。
・自転車を利用することが多い区内の中学・高校の生徒向けに、自転車の道路上での正しい走行の仕方を掲載したリーフレットを配布し、安全運転を啓発します。併せて、県条例により自転車保険の加入が義務化されたことを周知し、万一の際の経済的な損失を防ぎます。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会
-------------	----------	---------

2 運営方針等との関係 令和元年度保土ヶ谷区運営方針 暮らしの安全・安心の確保

3 根拠法令・要綱等 横浜市自転車等放置防止に関する条例、交通安全運動横浜市実施要綱、保土ヶ谷区スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、保土ヶ谷区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、交通安全対策基本法

【実績の推移・今後見込み】
 区内の交通事故件数は昨年に比して増加傾向にありますので、安全・安心な街づくりを推進するため、さらなる道路環境の整備や交通安全思想の普及などの交通施策を実施して交通事故防止を図る必要があります。
 また、放置自転車防止対策として、自転車等放置防止監視員の配置や区民の意識啓発などを総合的に推進していく必要があります。保土ヶ谷駅の放置自転車数は減少傾向ですが、警察、各駅の自転車等放置防止対策協議会、各学校スクールゾーン対策協議会、交通安全協会といった関連団体と連携した継続的な啓発活動を進めていく必要があります。

- 【実施内容】
- 交通安全運動・教育・啓発
 各季の交通安全運動：春(4月)秋(9月)の全国交通安全運動、夏(7月)年末(12月)の交通事故防止運動強化月間：自転車マナーアップ強化月間(5月)、暴走族追放・二輪車事故防止運動(6月)、違法駐車追放自転車等放置防止運動(10月)、飲酒運転根絶強化月間(12月)
 交通安全教室等：はまっこ交通安全教室、3世代交通安全教室の実施、自治会・町内会へ交通安全出前講座。保土ヶ谷区独自で、自動車や二輪車、歩行者等の中で実際に起こり得る交通事故を再現した体験型交通安全教室(スケアードストリート)を引き続き実施し、特に親世代の交通安全教室への参加を促していきます。
 功労者表彰：関係団体と共催で、11月に功労者表彰式を開催します。
 広報・啓発活動：自転車の事故防止活動として、「中学生と高校生の生徒」向けと「高齢者」向けにリーフレットを作成し、啓発活動を行います。
 広報よこはま4月号で小学校の新1年生向けの交通安全の特集を組みます。
 - 交通安全対策(交通安全施設の整備、団体活動補助)
 スクールゾーン路面標示の整備、スクールゾーン対策協議会連絡会の開催
 スクールゾーン対策協議会活動補助(19校)、自転車等放置防止推進協議会活動補助(6駅)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
交通安全運動・教育・啓発	自: 1,290	自: 1,072	218	委託回数見直しによる減
交通安全対策	自: 2,794	自: 2,452	342	設置箇所増による増
自転車等放置特別対策	自: 300	0	300	仕様の拡大による増
通学路安全対策	0	自: 4,000	4,000	整備終了による減
事業費合計	4,384	7,524	3,140	
内 自主企画事業費	4,384	7,524	3,140	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 交通事故発生状況(保土ヶ谷警察署)、市内駅周辺放置自転車等の実態について(市道路局)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大山 敏彦	係長 関 弥生子	地域活動 係 亀井 隆
--------------------	-------------	-------------	----------------

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】
[保土ヶ谷区 地域振興 課]

No. 20

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成18年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名	市民活動支援事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	23
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,149					4,149
前年度	4,616					4,616
増減	467	0	0	0	0	467

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	2,265	2,265	3,313	予 事業費	3,649	3,649
算 メリット+一般財源	2,265	2,265	3,313	算 一般財源	3,649	3,649
決 事業費	2,489	2,738	3,385			
算 メリット+一般財源	2,489	2,738	3,385			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
(無)

事業の概要(目的)	市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働の支援への意識を持って、地域に密着したきめ細やかな支援を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	ほどがや市民活動センターでは、地域に密着した市民活動や生涯学習活動拠点として、他施設間連携を中心に、市民活動・地域活動を進める団体をつないだり、交流の場の提供、新たな担い手の発掘、継続して活動を進めるための相談・アドバイスなど、地域課題やニーズの把握に努め、きめ細やかな対応・支援が求められています。 また、区内の団体同士が連携し地域課題の解決へつながるための団体間の交流の場、及び団体の活動発表の場が求められています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支え合いの推進」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	・横浜市市民協働条例 ・横浜市生涯学習基本構想 ・ほどがや市民活動センター運営要綱 ・ほどがや市民活動センター協働運営会議会則 ・ほどがや市民活動センター評議会会則 ・ほどがや生涯学習フォーラム開催要領 ・ほどがや生涯学習フォーラム実行委員会規約
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 ほどがや市民活動支援センター (単位：人)

センターの年間延べ利用者数	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	R2年度見込み
	23,292	22,239	24,099	22,683	23,000	23,000

2 ほどがや生涯学習フォーラム (単位：団体)

参加団体数	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	R2年度見込み
	39	37	34	30	29	30

【実施内容】

- 市民活動センター運営費
 - 「ほどがや市民活動センター自主企画事業」の実施
 地域の市民活動や生涯学習支援につながる事業(研修会・講座・イベント等)を企画・実施し、新たな地域の担い手の発掘・育成を図ります。また、地域とつながるはじめの一歩として「地域デビュー講座」を実施し、地域活動のきっかけづくりを創出します。
 - 「街の学習応援隊事業」の実施
 様々な分野の知識や経験、技能・技術をボランティア活動に生かしたいと希望している個人・団体(街の学習応援隊登録者)を、区内の団体や施設に紹介し、地域の活動の支援につなげ、応援隊登録者自身が自らの活動を地域に発信し、活発に活動していくための支援を行っていきます。
 - 区民利用施設等との連携による活動支援
 ほどがや市民活動センターに登録している団体・個人や、各地区センター等で活動しているサークルについての情報を収集・把握・整理・提供することで市民活動・生涯学習を支援し、これから活動を始めようとする市民にとって、ほどがや市民活動センターが受け皿の役目を担うことを目指します。また、区民利用施設等との連携の強化を進め、ほどがや市民活動センターが中間支援施設の核となり、包括的な地域活動支援を目指します。

- (4) ほどがや市民活動センターの情報発信・広報・周知
 現在、市民活動・生涯学習活動に携わっている市民はもちろん、地域でこれからの活動を担っていく可能性を持った、潜在的活動者に対してほどがや市民活動センターという活動拠点を周知することによって、地域の活動の活性化を図ります。
- (5) 協働運営会議に対する事務的補助を通じた利用者との協働の推進
 ほどがや市民活動センターの登録団体で組織される協働運営会議とセンターが、協働して施設づくりを進めていくことを目指して、協働運営会議の事務を補助します。
 実施回数：総会：1回(予定)、全体会：2回(上期、下期各1回)
- (6) 評議会の開催によるセンター運営の見直し
 評議会を開催し、第三者的な立場から評価・助言を受けることによって、公平かつ効率的なセンターの運営、さらには、センターの運営における市民協働の在り方についての検討を進めていきます。
 実施回数：2回

2 ほどがや生涯学習フォーラム

区内を中心に活動する生涯学習や市民活動実施団体の相互交流、区民への活動PRを目的としたイベント「ほどがや生涯学習フォーラム」を、学習グループ、市民活動団体の代表で組織された実行委員会に委託し、実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
市民活動支援センター運営事業費	自 3,834	自 2,854	980	HP改修、印刷機リース、消費税増
ほどがや生涯学習フォーラム	自 315	自 310	5	消費税増による増
市民活動団体状況調査・分析	0	自 1,452	1,452	事業終了による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,149	4,616	467	
内 自主企画事業費	4,149	4,616	467	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

ほどがや市民活動センター事業報告書、第17回ほどがや生涯学習フォーラム実施報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	大山 敏彦	飯島 拓	岩間 千恵子

様式3-1

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 地域振興 課]

No.	21
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	------	--------	-------

事業名
はぐくみプロジェクト

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1
33	2
33	4

事業評価書番号	24
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,140					3,140
前年度	2,139					2,139
増△減	1,001	0	0	0	0	1,001

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,562	1,624	1,960	予算	事業費	3,140	3,140
	メリット+一般財源	1,562	1,624	1,960		一般財源	3,140	3,140
決算	事業費	1,338	1,661	1,186	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,338	1,661	1,186				

事業の概要(目的)	区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化させる体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施します。
-----------	--

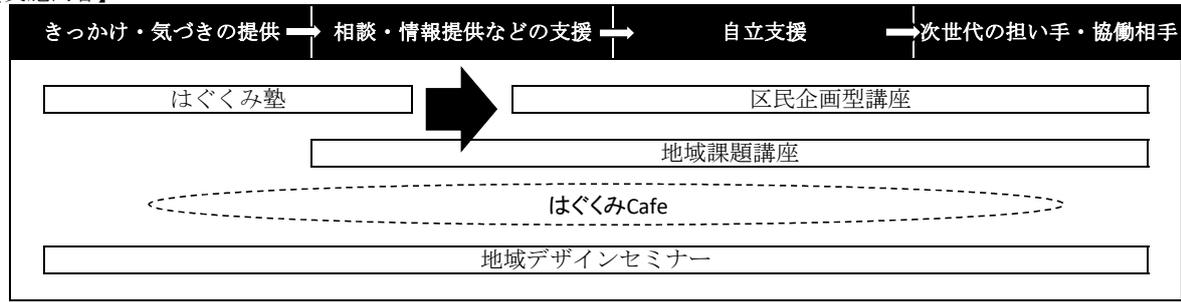
(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 人生で培ったノウハウやスキルを生かし、社会貢献をしたい意欲を持つ区民の活動は、地域の活力を生み出す原動力となります。地域課題の解決に向けて、自分にふさわしい形で地域活動・市民活動に参加できるよう支援し、「楽しさ」の中で社会貢献する「喜び」や「達成感」を感じられる取組を行う必要があります。 男女共同参画の視点で、子育て世代が社会のあらゆる分野に参加する機会を確保するため、保育付きの区民参画講座を実施する必要があります。 地域活動・市民活動の担い手が不足しているため、主体性を持って継続的に活動できる区民を育む必要があります。 多様化・複雑化する区民ニーズや相談に的確に対応していくためには、分野横断的な施設間連携が求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 6 区民要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支えあいの推進」
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育法 ・ 男女共同参画推進条例 ・ 第3次横浜市生涯学習基本構想 保土ヶ谷区区民企画型講座運営補助金交付要綱・保土ヶ谷区一時託児推進事業実施要領

【実績の推移・今後見込み】

		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
はぐくみ塾	参加者数	26	31	27	30	30
	運営委員数	27	32	20	25	25
区民企画型講座	参加者数(※1)	692	525	233	500	500
	講座数	6	9	5	7	7
地域課題講座	参加者数	31	106	12	100	—
はぐくみCafe	参加者数	77	75	40	80	80
保土ヶ谷区地域施設間連携促進事業(※2)	参加者数	37	134	106	140	150

※1 公開講座の来場者も含む 延べ人数
 ※2 平成28年度までは施設職員・行政職員スキルアップ研修として実施
 平成29年度は区配事業として保土ヶ谷区地域施設間連携促進事業を実施
 平成30年度から区づくり推進事業費として計上し、はぐくみプロジェクトに位置付け実施

【実施内容】



様式3-1

- 1 はぐくみ塾（予定：全6回、定員30人）
グループ運営の手法（場づくり、合意形成、仲間づくり）や企画の立て方などを学び、講座を企画・実施する力を養成し、主体性を持って継続的に活動できる区民を育みます。
- 2 区民企画型講座（予定：6講座）
はぐくみ塾修了生で組織する運営委員が企画・運営する講座に補助金を交付し、活動を支援します。
- 3 地域課題講座
保土ヶ谷区が抱える課題を解決するために、地域で活躍できる人材を育みます。
- 4 はぐくみCafe
はぐくみプロジェクト全体の活動報告会を兼ねた交流の場を提供し、人と人の繋がりを創出します。
- 5 保土ヶ谷区地域施設間連携促進事業「地域デザインセミナー」（予定：全5回）
 - (1) 区内の区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・行政職員の人的ネットワークの形成、職員のスキルアップや力量向上を図る研修を実施します。
 - (2) 地域デザインセミナーで共有した情報や施設間の連携を進めるコツをまとめた、地域支援に携わる職員の手引きとなる、“連携ハンドブック(仮称)”を作成します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
はぐくみ塾	自 195	自 195	0	
区民企画型講座	自 931	自 1,128	△ 197	実績に基づく減
地域課題講座	自 1,261	自 425	836	事業移管による減、事業統合による減、自主事業委託による増
保土ヶ谷区地域施設間連携促進事業	自 753	自 391	362	実績に基づく増、消費税増による増、事業統合による増
			0	
			0	
事業費合計	3,140	2,139	1,001	
内 自主企画事業費	3,140	2,139	1,001	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	大山 敏彦	飯島 拓	深谷 修人

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No. 22

[保土ケ谷区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成26年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名
読書活動推進事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	25
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	750					750
前年度	650					650
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	200	198	200	予算	事業費	650	650
	メリット+一般財源	200	198	85		一般財源	650	650
決算	事業費	199	159	200	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	199	159	85	有:件名()、日付(年月)			

(無)

事業の概要(目的)	区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ケ谷区民の読書活動を推進します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代に対応した読書機会の拡大が、求められています。 保土ケ谷図書館を中核として、様々な個人・団体と連携することで、保土ケ谷区の地域特性を活かし、地域に根差した読書活動推進が求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例、保土ケ谷区読書活動推進目標

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
保土ケ谷図書館年間貸出冊数	448,739	452,121	371,585	445,019	450,000	450,000
読書活動推進講演会	180	107	68	59	600	600

【実施内容】

- 読書活動推進講座
区民の読書活動の推進および、つながりの場づくりを行うため、本や読書に親しむ講座を実施します。
- 読書推進講演会(年1回)
読書にちなんだ講演会を実施することで、区民の読書活動に対して啓発を行います。
- 読書活動推進会(年2回)
区民代表、学校、区内図書貸出施設、図書館、区役所で連携し、情報共有、事例発表などを行い、地域に根差した読書活動の推進を図ります。
- 他事業との連携
他事業のイベント等にて、読書活動に関するPRを行うなど、幅広い読書活動推進を行います。
- 保土ケ谷区図書ガイドマップの作成
29年度に作成した図書貸出施設ガイドマップを改訂し増刷します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
読書活動推進事業	自 750	自 650	100	印刷物発行による増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	750	650	100	
内 自主企画事業費	750	650	100	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

「横浜市の図書館(横浜国立図書館年報)※統計資料」、各講座アンケート、講座・啓発イベントの参加者数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小森 俊孝	係長 飯島 拓	生涯学習支援 係 ナイーム モハメドモアズ
--------------------	-------------	------------	--------------------------

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	保土ケ谷芸術の街
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	26
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,747					2,747
前年度	3,047					3,047
増△減	△ 300	0	0	0	0	△ 300

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,547	2,547	2,847	予算	事業費	2,747	2,747
	メリット+一般財源	2,547	2,547	2,847		一般財源	2,747	2,747
決算	事業費	2,249	2,428	2,841	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	2,249	2,428	2,841	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	保土ケ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	区の文化振興策として「活動成果発表の場や鑑賞の機会の提供」を積極的に行い、また、区内の文化芸術活動を支援・育成し、区民が身近な場所で、多様な文化に気軽に触れることができる環境を作る必要があります。現在、区民文化祭実行委員会は個々の団体での活動にとどまっているため、各団体間の連携を促進する必要があります。
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	保土ケ谷区地域文化事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】					
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
文化祭	11事業	9事業	10事業	10事業	10事業
参加人数	6,268人	5471人	4570人	6163人	6000人(※)
ギャラリー展示数	61団体	66団体	53団体	57団体	54団体
区民コンサート	425人	412人	300人	457人	340人

(※は見込)

【実施内容】	
1 保土ケ谷区民文化祭事業	公会堂、岩間市民プラザ等において、区民文化祭実行委員会に所属する団体が、9月から翌年3月にかけて文化イベントとして保土ケ谷文化祭「区民写真展」「区民芸能祭」「茶会」「いけばな展」「ふれあいコンサート」「子ども芸術劇場」「小学校児童音楽会」「高齢者作品展」「合唱祭」及び「ほどがやDancePerformance」を実施します。また、参加団体の連携を図り、実行委員会としての役割を検討します。
(参考)横浜市芸術アクション事業と連携して、年に一度の3つのテーマ(音、トリエンナーレやダンス)をもとに、保土ケ谷区ならではのイベントを企画し、子どもから大人まで幅広い年齢層の区民が自主的に運営・参加できる事業を開催し地域の魅力づくりへの貢献を目指します。	
2 区民ギャラリー事業	(1) 区役所1階と保土ケ谷駅ビル内の2か所に設置した展示ケースに、区民の文化作品を展示します。 (2) 区民の展示作品が、より良くディスプレイできるよう展示場所の改善を図ります。また、ホームページやインスタグラムなどの媒体を利用し、多くの方々に作品が見られるよう紹介します。
3 区民密着型コンサート(区民オーケストラ)	事業区民に良質な音楽を提供し、気軽に楽しんでもらうことを目的として、地域に根差したオーケストラ等によるコンサートを実施し、区民を無料招待します。親子連れ等でも気軽に参加できる地域密着型の演奏会とします。
4 区の歌普及事業	保土ケ谷区制80周年を記念して平成19年に制定した区の歌「わがまち、保土ケ谷」を普及させるため、区民で組織される合唱団に委託して実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保土ヶ谷区民文化祭事業	自 1,820	自 1,820	0	
区民ギャラリー事業	自 227	自 527	△ 300	整備費の精査による減
区民密着型コンサート事業				
区の子歌普及事業				
事業費合計	2,747	3,047	△300	
内 自主企画事業費	2,747	3,047	△300	
内 訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	大山 敏彦	中野 正信	武田 美保

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 地域振興 課]

No.	24
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	スポーツの街ほどがや推進事業
-----	----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	7	2

事業評価書番号	27
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,063					4,063
前年度	2,951					2,951
増減	1,112	0	0	0	0	1,112

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	2,534	2,504	2,715	予 事業費	2,963	2,963
算 メリット+一般財源	2,534	2,504	2,715	算 一般財源	2,963	2,963
決 事業費	2,547	2,868	2,715			
算 メリット+一般財源	2,547	2,868	2,715			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を控え、日本中でスポーツへの関心が高まっている中、スポーツによる健康増進や体力の向上、地域の活性化に対する区民の期待は、ますます高まっています。 ・地域でスポーツ活動の主体的な役割を果たしているスポーツ推進委員や区体育協会の活動を支援する取組が必要です。 ・区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCへの区民の愛着を一層育み、区の魅力をさらに高めるため、横浜FCや地域と連携した事業の実施が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり
3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、横浜市スポーツ振興基本計画、横浜市スポーツ推進委員規則、保土ヶ谷区スポーツ活動推進事業補助金交付要綱、保土ヶ谷区体育協会事業補助金交付要綱、区内スポーツ団体連携強化事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

行事名		26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
少年少女球技大会	参加者数	377	481	447	529	316()	413	500
グラウンドゴルフ大会	参加者数	234	230	233	235	224	230	230
かるがもファミリーマラソン大会	参加者数	1,429	1,384	1,499	1,020	1,314	1,500	1,500
横浜FC保土ヶ谷区民DAY	無料入場者数	1,107	2,269	2,300	1,925	1,904	1,469	2,000

() 平成30年度は熱中症対策として、トスペースボール大会(219名参加予定)を中止しました。

【実施内容】

- 体育協会事業(区体育協会への補助)
 - 区内スポーツ団体連携強化事業補助金
12競技団体の連絡・調整を担う事務局人件費を補助し、自立化・自主運営体制を強化します。
 - 体育協会事業補助金
各種スポーツ大会(区民大会)の開催及びスポーツの普及・発展に関する経費を補助します。
- 各種スポーツ大会事業
 - 少年少女球技大会
参加者の健全な発育発達を促進するとともに、友情や連帯感、協調性等を学ぶことで、社会性や責任感を身に付けます。
 - グラウンドゴルフ大会
参加者の健康保持や増進、世代や障害をこえた交流を図ります。
 - かるがもファミリーマラソン大会
参加者の健康保持や増進、家族や参加者相互の交流を深めます。
 - ほどがやスポーツまつり
区体育協会主催による区民大会総合開会式を実施するとともに、誰もが参加できるスポーツイベントを開催します。

3 プロスポーツ連携事業

(1) 地域活性化

横浜FC、区連会、区商連と連携し、区内で行われるホームタウン活動及び地域活性化に資する活動をより推進します。

(2) 保土ヶ谷区民DAY

横浜FCと連携し、区民をホームゲームに無料招待することで、区民が横浜FCを身近に感じる機会を創出します。

また、区内企業及び団体の区民DAYへの参加を促進し、会場で区の魅力を発信します。

(3) 認知度向上

多くの区民の横浜FCへの愛着を一層育むことを目的に、横浜FCのロゴを活用したランドセルカバー作成等のPR活動を行います。

4 東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成事業

東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的に、オリンピック・パラリンピック種目の体験教室を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
体育協会事業	自 1,299	自 1,287	12	最低賃金の増による増
各種スポーツ大会事業	自 1,424	自 1,424	0	
プロスポーツ連携事業	自 240	自 240	0	
オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	自 1,100	自 0	1,100	新規事業による増
			0	
事業費合計	4,063	2,951	1,112	
内 自主企画事業費	4,063	2,951	1,112	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	大山 敏彦	飯島 拓	西戸 達哉

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No. 25

[保土ヶ谷区 地域振興 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名 みんなで育む がやっこ事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 28
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,076					1,076
前年度	1,085					1,085
増△減	△ 9	0	0	0	0	△ 9

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	973	1,023	1,023	予算	事業費	1,076	1,076
	メリット+一般財源	973	1,023	1,023		一般財源	1,076	1,076
決算	事業費	931	981	859	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	931	981	859	有:件名()、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要 (目的)	“がやっこ(元気な保土ヶ谷の子どもたち)”の健全育成を図るため、地域の資産である横浜国立大学と連携し、体験型講座や学生派遣による学習支援等を行います。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

青少年の自立に向けて、多様な人と関わり、様々な文化・知識等に触れられる場・機会が求められています。地域の資産である横浜国立大学と連携した様々な“がやっこ(元気な保土ヶ谷の子どもたち)”の健全育成を図る事業は、大変好評であり、これを活用したいという区民ニーズは年々増加傾向にあります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	8 その他
-------------	------------	-----------	-------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	国立大学法人横浜国立大学と横浜市保土ヶ谷区との連携協力協定書
------------	--------------------------------

【実績の推移・今後見込み】		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
1 がやっこ先生	実施回数	297回	358回	358回	236回	360回	360回
	参加学生数	19人	22人	23人	18人	30人	30人
2 がやっこ科学教室	実施回数	7回	4回	6回	8回	10回	8回
	延べ参加者数	97人	90人	100人	138人	150人	150人
3 がやっこ探検隊	実施回数	7回	7回	7回	7回	7回	7回
	企画実施学生数	45人	46人	42人	46人	46人	46人
	参加者数	80人	80人	80人	80人	80人	80人

- 1 がやっこ先生は、学生による区内市立小中学校への登録が一定数見込まれます。
- 2 がやっこ科学教室は、講座の内容や日程により申込人数に変動がありますが、参加者から大変好評であり事業継続の要望があるため、今後も多くの受講者が見込まれます。
- 3 がやっこ探検隊については、毎年定員を大きく上回る申込みがあり、兄弟姉妹や経験者からの申込みも見られることから、地域での口コミにより今後も同様の傾向が続くことが予想されます。

【実施内容】
次の内容を、国立大学法人横浜国立大学に委託することにより実施します。

- 1 がやっこ先生事業
教員志望の学生を区内市立小中学校へ派遣し、学業面での支援に限らず、幅広い活動において子どもたちを支援することにより、子どもたちの学校生活の充実化を図ります。
- 2 がやっこ科学教室事業
教員・学生と協働して、自然科学・人文科学の不思議さや面白さを伝え、子どもたちの好奇心と探究心を育みます。
- 3 がやっこ探検隊事業
参加した子供たちが地域・友人への愛情や生きる力を育んでもらうことを目的として、保土ヶ谷区に在住または在学の小学3～6年生を対象に、学生の企画・運営による、日頃経験できないような様々な体験学習(宿泊体験を含む)を実施します。

【横浜国大パートナーシップ事業】
国立大学法人横浜国立大学と保土ヶ谷区とは、地域における大学の教育・社会貢献活動の促進と、安全・安心、活力あるまちづくりに向けた地域課題の解決を目的とし、平成25年2月19日に連携協力協定を締結しています。みんなで育む がやっこ事業は、その連携事業の一つとして位置付けられています。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 がやっこ先生事業	自 360	自 400	△ 40	実績に基づく減
2 がやっこ科学教室事業	自 310	自 300	10	消費税の増による増
3 がやっこ探検隊事業	自 406	自 385	21	実績に基づく増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,076	1,085	△ 9	
内 自主企画事業費	1,076	1,085	△ 9	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
各事業の参加者数、「がやっこ育成事業委託」精算書(総括)、アンケート

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	大山 敏彦	飯島 拓	ナイーム モハメドモアズ

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 地域振興 課]

No.	26
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名
青少年健全育成事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	29
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	456					456
前年度	306					306
増△減	150	0	0	0	0	150

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算	事業費	300	300	300
	メリット+一般財源	300	300	300
決算	事業費	300	300	450
	メリット+一般財源	300	300	450

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	306	456
	一般財源	306	456

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	健全育成の普及活動等に要する経費を補助し、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図ること、また青少年健全育成の推進に資することを目的とする。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	・子ども会の活動を通じた地域のつながり作り、また長期的に青少年の健全育成のための活動に取り組める人材の育成及び確保が必要となります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	保土ケ谷区青少年健全育成事業補助金交付要綱
------------	-----------------------

【実施内容】

子ども会育成者研修事業(区子ども会育成連絡協議会への補助)
地域において活動する子ども会育成者及びジュニアリーダーの資質向上のために実施する研修に係る経費を補助します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子ども会育成者研修事業	自 456	自 306	150	海の子山の子アドベンチャー交流会が福島開催に伴う増(隔年)
事業費合計	456	306	150	
内 自主企画事業費	456	306	150	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

事業報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	大山 敏彦	飯島 拓	佐藤 司

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 こども家庭支援課]

No.	27
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成29年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	がやっこキッズ学び育み事業
-----	---------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	24	5

事業評価書番号	31
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,950					2,950
前年度	2,329					2,329
増減	621	0	0	0	0	621

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度	
予 算	事業費	652	1,448	予 算	事業費	3,829	4,579
決 算	メリット+一般財源	652	1,448	算	一般財源	3,829	4,579
決 算	事業費	1,111	1,237				
算	メリット+一般財源	1,111	1,237				

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身につけられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行います。
------------	--

（説明）

1 地域の課題等	様々な理由により学校以外での学習習慣が定着していない子どもが、学習へのつまづきを通じて学校生活に適合出来なくなり、非行や不登校につながっていく場合があります。そこで、子どもの将来の社会的自立に向けて、子どもにとって最も身近な学校施設を活用する放課後キッズクラブにおいて、地域と連携した学習支援を行い、学習習慣・意欲の獲得や自己肯定感の醸成を図れるよう支援を行っています。 区内19小学校のうち9校で実施していますが、家庭学習に十分にに取り組むことが困難な家庭はすべての小学校に万遍なく存在するため、各学校と調整しながら、引き続き実施校の拡大に努める必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	6 区民要望
-------------	--------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 誰もが健やかに暮らせる環境づくり
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	保土ケ谷区がやっこキッズ学び育み事業実施要綱 保土ケ谷区がやっこキッズ学び育み事業費補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	30年度	元年度見込	2年度見込	3年度見込
実施校数	6	9	12	15

- 【実施内容】
- 学習支援の概要
 - 実施場所：放課後キッズクラブ開設校の空き教室
 - 支援内容：宿題や自主的な予習復習、プリント学習のサポート（指導者は主に教員OB）
 - 対象者：主として放課後キッズクラブの登録者で参加を希望する児童
 - 実施回数：概ね週1回（長期休業期間中も実施）で、年間40～50回程度
 - 実施手法：放課後キッズクラブ運営法人への運営費補助
 - 情報共有や質の向上のための取組
 - 全実施校の学習アドバイザー、法人、オブザーバー参加の連絡会を開催（年2回）
 - 新規実施校向け説明会を開催（1回）、新規実施校での調整（3校）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
がやっこキッズ学び育み事業	自 2,950	自 2,329	621	実施校増による増
			0	
			0	
事業費合計	2,950	2,329	621	
内 自主企画事業費	2,950	2,329	621	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

29年度保護者等アンケート

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大吉 進	係長 矢吹 貴	係 矢吹 貴
--------------------	------------	------------	-----------

[保土ヶ谷区 子育て支援課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	ほどがやhappy子育て ～妊娠期からの安心サポート～
-----	--------------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	23	1,2,3,4

事業評価書番号	32
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,062					6,062
前年度	5,304					5,304
増減	758	0	0	0	0	758

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	3,004	5,049	4,935	予 算	6,852	6,852
メリット+一般財源	3,004	5,049	4,935	算	6,852	6,852
決 算	2,819	4,340	4,081			
メリット+一般財源	2,819	4,340	4,081			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
(無)

事業の概要 (目的)	地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきます。
------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	平成29年度の子育てアンケート結果で、2割の母親が孤立感を抱いていることが明らかになり、その孤立感を和らげるため、 夫婦のより良いコミュニケーション、仲間づくりのための情報発信の工夫、親子関係を良くし、子どもが親になった時の孤立感を減らす、地域とのつながりが取組の課題として あげられました。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 4 地区懇談会 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、地域保健法、児童福祉法、横浜市保育所地域子育て支援事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】						
		28年度	29年度	30年度	元年度見込	2年度見込
施設開放(天王町及び神戸保育園)	参加者数/年	2,788人	2,033人	2,200人	2,600人	2,600人
ほがらか広場	参加者数/年	593人	761人	811人	700人	700人
地域赤ちゃん教室	会場数/年	14会場	14会場	14会場	14会場	14会場
	実施回数/年	154回	154回	154回	154回	154回
	参加者数/年	4,513人	4,118人	3,933人	4,200人	4,000人
乳幼児健診来庁者への情報提供	参加者数/年	7,592人	7,367人	6,832人	7,000人	7,000人
保育所入所案内作成	作成部数/年	4,000部	4,000部	5,000部	5,000部	6,000部
地域子育て支援連絡会	実施回数/年	2(177回)	2(177回)	2(177回)	2(177回)	2(177回)
ほどがや子どもニコニコフェスタ	参加者数/年	325人	576人	1,500人	1,500人	1,500人
保育園応援隊	実施回数/年	37回	37回	20回	20回	20回

【実施内容】	<p>1 夫婦のより良いコミュニケーション【新規】 妊娠出産子育ての基礎知識の習得や夫婦のより良いコミュニケーション・友達づくりを目的に実施する両親教室のプログラムにリラクゼーションを取り入れることで、妊婦の心と体の安定を図ります。</p> <p>2 仲間づくり・情報発信の工夫 (1)保育所による妊娠・未就学児支援の充実 天王町駅を中心としたエリアにおいて、エリア内に立地する育児支援センター(天王町保育園及び神戸保育園の2園)が持つ機能を活用し、妊娠期の方及び未就学児親子を対象とした事業を実施します。参加者が2園及び地域の保育資源を回遊し継続的に参加することができるよう、園庭開放、保育園文庫、ランチタイム(食育)等の支援内容やスケジュールを連携し広報します。地域で孤立せず、参加者同士が主体的につながっていく、人とつながる子育てを応援します。 また、公立保育園の役割として実施している、地域の親子に向けた絵本の貸出を若井保育園及び向台保育園についても充実を図ります。 さらに、増加する外国人親子とのコミュニケーションを図れるよう支援を実施します。</p> <p>(2)ほがらか広場 区内公私保育園が合同で、親子向けの遊びの紹介などを開催します。また、地域の子育てサロンに出張し、利用者層の拡大を目指します。回数：大規模1回、小規模6回</p> <p>(3)赤ちゃん教室 第1子の子育て不安解消と仲間作りを目的に、専門職による育児に関する講話、育児相談、親子の交流、父母間のより良いコミュニケーションのとり方、情報交換を実施します。また、近隣保育所の保育士や福祉保健課健康づくり係、自治体役員や多世代の参加など多様な関係者の協力を得ながら、各地区の特色を生かし実施します。 回数：14会場、各11回/年(延べ154回)</p>
--------	--

- (4)外国人親子の居場所づくり(仮)【新規】
 外国人親子の増加に伴い、地域子育て支援拠点こっころや国際交流ラウンジと協力し、医療機関のかかり方や事故予防をテーマに交流の場を作ります。
 回数：6回/年 場所：地域子育て支援拠点こっころ
- (5)健診受診者への支援
 乳幼児健診の待ち時間を利用した遊びの紹介や、子育てに関する地域情報の提供を継続して実施します。また、1歳半健診で要支援となった世帯を対象に、郵送返信で連絡を行い、健診後の確実なフォローにつなげます。
- (6)お役立ち情報の充実(ホームページ、子育てマップ)
 区役所ホームページに最新の子育て情報(保育所情報等)を掲載します。また、保育所の新規入所にあたり、全区一律で作成されている入所案内に加え、保土ヶ谷区独自の補助資料を作成することで保土ヶ谷区民の円滑な入所申請を促します。
 また、子育てに関して身近な相談先や利用資源を知ること、養育者が地域へと出向く機会を増やすことを目的に、子育て支援マップを作成します。関係機関での配架、及びこんにちは赤ちゃん訪問時や転入手続きの際に手渡しで配布します。

3 より良い親子関係づくり【拡充】

ほめ方・しかり方練習講座
 親と子のつどいの広場実施の4法人に事業委託し、親子関係を良くするためのほめ方・しかり方講座を実施します。
 回数：4法人×2回/年 場所：各法人事務所等

4 地域とのつながりづくり

- (1)地域子育て支援連絡会
 子育てにおける多世代交流をめざし、地域子育て支援拠点こっころ・区社協・育児支援センター保育園・区が事務局となり、子育てに関連する機関や関係者が集まり、地域での子育て支援に取り組みます。
 内容：研修や情報交換のための全体会2回 7か所の地域ケアプラザごとのエリア別連絡会の開催(3~5回/会場)
- (2)ほ도가やこどもニコニコフェスタ
 子育て世代をはじめ広く多世代の区民を対象に子育てに関する事業の周知を行うため、講演会やイベントを開催します。開催にあたっては、虐待防止推進月間である11月に、地域の子育て支援団体に委託し、協働で行います。
 内容：関係機関事業案内、命の大切さ体験、保護者のサークル活動披露など
- (3)保育園応援隊
 公立保育園在園児に対して、地域の様々な人材に保育園応援隊として経験豊かな技術の披露等をしていただくとともに、世代間交流の一層の充実を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1夫婦のより良いコミュニケーション	96	0	96	
両親教室【新規】	自 96	自 0	96	自主企画事業への移行による増
2仲間づくり・情報発信の工夫	4,069	3,621	448	
保育所による妊娠期・未就学児支援	自 807	自 805	2	取組拡充に伴う増
ほがらか広場	自 417	自 498	81	前年度実績に基づく減
赤ちゃん教室	自 822	自 792	30	前年度実績に基づく増
外国人親子の居場所づくり【新規】	自 324	自 0	324	新規事業による増
健診受診者への支援	自 1,005	自 879	126	健診配付資料入れによる増
お役立ち情報(ホームページ)	自 446	自 406	40	入所希望者数の増による増
子育てマップ	自 248	自 241	7	消費税増税に伴う単価の増
3より良い親子関係づくり	786	572	214	
ほめ方・しかり方練習講座【拡充】	自 786	自 572	214	事業拡充による増
4地域とのつながりづくり	1,111	1,111	0	
地域子育て支援連絡会	自 451	自 451	0	前年度同額
ほ도가やこどもニコニコフェスタ	自 500	自 500	0	前年度同額
保育園応援隊	自 160	自 160	0	前年度同額
事業費合計	6,062	5,304	758	
内 自主企画事業費	6,062	5,304	758	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

保土ヶ谷区子育てアンケート(平成29年度実施)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	飯田 常彦	森山 まり子	森山 まり子 小杉 まり子

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 こども家庭支援課]

No.	29
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成16年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	子どもを守ろう！ 地域子育てつながり事業
-----	-------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	33
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,037					2,037
前年度	2,103					2,103
増減	66	0	0	0	0	66

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	2,050	1,806	2,342	予 事業費	2,139	2,139
算 メリット+一般財源	2,050	1,806	2,342	算 一般財源	2,139	2,139
決 事業費	2,019	1,689	2,261			
算 メリット+一般財源	2,019	1,689	2,261			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすいひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	保土ヶ谷区の30年度虐待相談件数は487件であり、区内の児童人口の1.73%（市平均1.72%）という状況にあります。限られた人員配置の中で年々増える相談に対応していくためには、児童虐待の重篤化防止に向け、関係機関・職員のスキルアップを図るとともに、地域の「見守り力」を更に向上させるための継続した啓発活動が必要です。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望	5 区民アンケート
-------------	------------	----------	-------------	-----------

2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 いつまでも住み続けたいまちほどがや
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童虐待防止等に関する法律、児童福祉法、横浜市子ども・子育て支援事業計画、横浜市子どもの貧困対策に関する計画
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

進行管理台帳(被虐待児を登録している台帳)登録数	(単位：人)						
区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
保土ヶ谷区	272	343	420	485	449	437	376
(参考)18歳未満人口	29,732	29,297	29,066	29,066	28,631	28,266	27,796

(H31.1.1現在)

【実施内容】

- 児童虐待防止啓発事業(対象：区職員、一般区民)**
 児童虐待防止について、地域で開催される催し物などを通じた普及啓発を継続して実施します。
 内容：区職員転入者への啓発(6月)、区民まつり(10月)、児童虐待防止推進月間(11月)で区庁舎、地域ケアプラザ、地区センター、保育所、町内会等で広報啓発を実施
- 要保護児童対策地域協議会 実務者会議(対象：区関係機関)**
 保護や支援の必要な家庭を地域で支えていくために、関係機関が守秘義務を順守し、会議を開催します。
 内容：学校・病院・医師会・警察・児童相談所・民生委員児童委員など地域専門機関との連携強化を目的とした実務者全体会議を年1回、地域ケアプラザエリア別の関係機関等で構成する会議を7地区で各年1回ずつ開催します。各エリアごとに効果的な啓発方法を検討します。
 また、要保護児童等を訪問し支援するために、区内の山坂の多い立地を効率よく訪問できるよう電動自転車を活用します。
 その他、子ども・家庭支援相談リーフレットを区内保育園・幼稚園・小学校・中学校等に配布し、乳幼児期から学童期・思春期までの相談窓口を周知します。
- 女性の離婚等のための相談事業：ライフサポートカウンセリング(対象：離婚等検討している女性)**
 女性が自立した生活を送れるよう、生活相談や、DV・離婚等の弁護士相談を実施します。
- 子どもの発達に不安を抱える親を対象にした講座の開催**
 基幹相談支援センターと協力し、子どもの発達に不安を抱える親を対象に、発達に合わせたかかわり方の講座を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
児童虐待防止啓発事業	自 1,054	自 1,020	34	啓発物品の見直しによる増
要保護児童対策地域協議会	自 398	自 498	100	備品費の精査による減
女性の離婚等のための相談事業	自 430	自 482	52	相談時間の精査による減
子どもの発達講座	自 155	自 103	52	事業の拡充による増
			0	
事業費合計	2,037	2,103	66	
内 自主企画事業費	2,037	2,103	66	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

進行管理台帳（被虐待児を登録している台帳）登録数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭 係
	飯田 常彦	田中 貴子	田中 貴子

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	30
-----	----

[保土ケ谷区 福祉保健 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区 分	子育て支援 健康づくり	事業開始年度	平成15年度
------	-----------------------------	-----------------	----------------	--------	--------

事業名	ほどがや歯っぴいHealth事業 【前年度：保土ケ谷8020歯っぴい事業】
-----	--

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 ○ 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	34
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,400					1,400
前年度	1,183					1,183
増△減	217	0	0	0	0	217

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予算	860	860	980	事業費	1,033	1,034
	860	860	980	一般財源	1,033	1,034
決算	843	832	954	方針に関する決裁 種別()		
	843	832	954	有:件名()、日付(年月)		
無						

事業の概要 (目的)	口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保つていくために必要な知識や口腔内のお手入れ方法を、実技指導等を取り入れながら啓発します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・保土ケ谷区の3歳児健診でむし歯のある児の割合は、平成14年：27.2%という市内最下位だったことで事業を開始した結果、平成30年：10.75%と減少していますが、市平均9.3%より高値で、継続した取組が必要です。 ・1歳頃は、仕上げみがきの開始時期で保護者の歯に対する関心は高まる一方、子どもが仕上げみがきを嫌がるのが、育児不安の原因の一つとなっています。集団の場で他の子どもの様子を見ながら学び、育児不安を解消する場が必要です。 ・歯周病は糖尿病や動脈硬化を進め、心筋梗塞などの全身の病気につながることで、むし歯と共に歯をなくす原因となり食生活にも大きな影響を与えることがわかっています。軽度を含めると、40歳代で8割以上が歯周病に罹患しているため、より早期の20～30代から、子どもの歯への関心の高まる時期に、歯周病予防啓発を行うことは効果的です。生涯を通じて健康でいきいきとした生活のために、お口の健康づくりは重要です。 ・横浜市歯周病健診は保土ケ谷区では市平均を上回り、18区中2位です。しかし、健診の結果歯周病が要治療となった割合が77.9%と最下位で、歯周病の予防が必要です。 ・近年、歯と口腔機能低下が全身の虚弱化に影響することが明らかになっています。そのため、成人期を中心とする歯周病予防推進と、高齢期を中心とするオーラルフレイル予防をより一層推進することで、歯と口腔機能が全身へ影響を及ぼす認知度を向上させることが課題です。 ・区職員の直接支援には限りがあるため、地域人材の歯科口腔保健に関する理解促進と地域の普及啓発を推進していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり
3 根拠法令・要綱等	健康増進法、母子保健法、歯科口腔保健の推進に関する法律、健康横浜21

【実績の推移・今後見込み】

1 歯の生え始めから育ち学びの時機をとらえた口腔衛生の向上	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>(1) 歯っぴいいきいき1歳児</td> <td>379人</td> <td>391人</td> <td>339人</td> <td>381人</td> <td>400人</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>(2) 親子健康まつり</td> <td>195人</td> <td>159人</td> <td>200人</td> <td>150人</td> <td>151人(6月)</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>(3) 小中学校期に対する歯科保健の啓発</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30人</td> <td>事業見直し</td> </tr> </table>		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	(1) 歯っぴいいきいき1歳児	379人	391人	339人	381人	400人	400人	(2) 親子健康まつり	195人	159人	200人	150人	151人(6月)	200人	(3) 小中学校期に対する歯科保健の啓発	-	-	-	-	30人	事業見直し							
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																														
(1) 歯っぴいいきいき1歳児	379人	391人	339人	381人	400人	400人																														
(2) 親子健康まつり	195人	159人	200人	150人	151人(6月)	200人																														
(3) 小中学校期に対する歯科保健の啓発	-	-	-	-	30人	事業見直し																														
2 成人期以降の歯周病予防啓発	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>(1) 産前産後ママ</td> <td>1409人</td> <td>1452人</td> <td>1413人</td> <td>1354人</td> <td>1350人</td> <td>1350人</td> </tr> <tr> <td>産前産後個別指導</td> <td>487人</td> <td>477人</td> <td>507人</td> <td>535人</td> <td>450人</td> <td>450人</td> </tr> <tr> <td>(3) 区民まつり・むし歯クイズ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>206人</td> <td>300人</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>(3) 中小企業従業員に向けた口腔衛生の出前講座事業</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3回</td> </tr> </table>		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	(1) 産前産後ママ	1409人	1452人	1413人	1354人	1350人	1350人	産前産後個別指導	487人	477人	507人	535人	450人	450人	(3) 区民まつり・むし歯クイズ	-	-	-	206人	300人	300人	(3) 中小企業従業員に向けた口腔衛生の出前講座事業	-	-	-	-	-	3回
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																														
(1) 産前産後ママ	1409人	1452人	1413人	1354人	1350人	1350人																														
産前産後個別指導	487人	477人	507人	535人	450人	450人																														
(3) 区民まつり・むし歯クイズ	-	-	-	206人	300人	300人																														
(3) 中小企業従業員に向けた口腔衛生の出前講座事業	-	-	-	-	-	3回																														
3 オーラルフレイル予防啓発【新規】	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>(1) 医療関係団体との協働によるイベント</td> <td>487人</td> <td>477人</td> <td>507人</td> <td>482人</td> <td>450人</td> <td>450人</td> </tr> <tr> <td>(2) 地域保健関係者への研修</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>321人</td> <td>400人</td> <td>400人</td> </tr> </table>		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	(1) 医療関係団体との協働によるイベント	487人	477人	507人	482人	450人	450人	(2) 地域保健関係者への研修	-	-	-	321人	400人	400人														
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																														
(1) 医療関係団体との協働によるイベント	487人	477人	507人	482人	450人	450人																														
(2) 地域保健関係者への研修	-	-	-	321人	400人	400人																														
4 地域のつながりを通じた口腔衛生の向上【拡充】	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>(1) 歯っぴいサポート事業</td> <td>51人</td> <td>23人</td> <td>98人</td> <td>384人</td> <td>450人</td> <td>450人</td> </tr> </table>		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	(1) 歯っぴいサポート事業	51人	23人	98人	384人	450人	450人																					
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																														
(1) 歯っぴいサポート事業	51人	23人	98人	384人	450人	450人																														

【実施内容】

- 1 歯の生え始めをとらえた口腔衛生の向上
 - (1) 歯っぴいいきいき1歳児事業

〈内容〉 歯が生え始め、むし歯の心配も高まるものの、仕上げ磨きを嫌がられ、育児不安を抱える1歳前後の保護者を対象に、むし歯予防のための食習慣や、嫌がる子どもに対する仕上げ磨きの方法を、また唾液検査を実施して、同時に保護者の歯周病予防を、グループワークや実習を取り入れて教室形式で実施します。

〈実施回数〉 区役所において月1回（計12回）

〈対象者〉 11～13か月児とその保護者
 - (2) 親子健康まつり事業

〈内容〉 歯科医師会、保健活動推進員、食生活等改善推進員と協働で、親子の健康を、むし歯や歯周病予防、食育や運動習慣の定着、健康チェックの重要性など、総合的に実施することにより、より効果的な啓発を行います。

〈実施回数〉 区役所において6月に1回

〈対象者〉 未就学児とその保護者

- 2 成人期以降の歯周病予防啓発
 - (1) 産前産後ママのお口のヘルスアップ事業

〈内容〉 保護者の口の健康状態が、子どもの口の健康に大きな影響があることや、20歳代からの歯周病予防の大切さを説明し、歯周病セルフチェック表等を利用して個別相談を行います。子育てに忙しく、自分のことが後回しになりがちな保護者に対して、出席率の高い4か月児健診事業（受診率95.9%）等と同時に実施します。

〈実施回数〉 母親教室において月1回（年12回）、4か月児健診において月2回（年24回）

〈対象者〉 母親教室参加者、4か月児健診に来所した保護者
 - (2) 区民まつり むし歯クイズ

〈内容〉 歯科衛生士が小学生・幼児連れを対象に、むし歯クイズを通じてむし歯予防を啓発します。
 →○×クイズで、むし歯の原因や年齢ごとの1日の砂糖摂取量の目安を知ってもらう。
 →砂糖量クイズで、普段の砂糖摂取量を振り返ってもらう。
 →問題の正解と詳しい解説及び啓発リーフレットを配布し、歯科衛生士による内容説明と質疑応答で、理解を促す。

〈実施回数〉 1回（区民まつり）

〈対象者〉 区民まつりに来場する小学生・幼児とその保護者
 - (3) 中小企業従業員に向けた口腔衛生の出前講座事業【新規】

〈内容〉 産業保健による支援が限られる区内中小企業の従業員に向け、ほどがや元気づくり事業と併せて、歯周病予防など口腔内のお手入れの方法や口腔の健康づくりについて啓発を行う。

〈対象者〉 区内中小企業従業員
 ※予算はほどがや元気づくり事業にて計上

- 3 オーラルフレイル予防啓発【新規】
 - (1) 医療関係団体との協働によるイベント事業

〈内容〉 横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例に基づき、保土ヶ谷歯科医師会と共催しているイベント会場にて、来場者を対象に口腔保健の機能チェック、食生活（適正な塩分量など）の啓発を行います。

〈実施回数〉 1回（お口の健康フェスティバル）

〈対象者〉 イベント参加者を中心とした区民全般
 - (2) 地域保健関係者への研修事業

〈内容〉 地域人材の歯科口腔保健に関する理解促進を図ることで、地域へ効果的な普及啓発を促進します。

〈実施回数〉 4回

〈対象者〉 保健活動推進員、食生活等改善推進員 等

- 4 地域のつながりを通じた口腔衛生の向上
 - (1) 歯っぴいサポート事業【拡充】

〈内容〉 区役所での直接的な支援や啓発では参加が限られるため、口腔衛生の実技指導を交えた出張出前講座を開催します。これまで、こども家庭支援課と連携して、地域の親子が集う子育てサロンなどの場で、子どもの虫歯予防と、保護者の歯周病予防の啓発を行ってきましたが、ケアプラや学校など出張の場を拡大するとともに、オーラルフレイル予防の啓発も加え、回数を増やして実施します。

〈実施回数〉 ・保育園合同育児講座 中規模 2回
 ・こどもニコニコフェスタ 1回
 ・地域の活動の場（ケアプラ・学校等） 12回 [参考：R1年度8回予定]

〈対象者〉 子育て支援拠点関係者、主任児童委員、乳幼児とその保護者

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 歯の生え始めから育ち学びの時機をとらえた口腔衛生の向上				
(1)歯っぴいいきいき1歳児	自 604	自 556	48	事業内容見直しによる増
(2)親子健康まつり	自 80	自 77	3	事業内容見直しによる増
2 成人期以降の歯周病予防啓発				
(1)産前産後ママのお口のヘルスアップ	自 229	自 208	21	事業内容見直しによる増
(2)区民まつり むし歯クイズ	自 56	自 54	2	事業内容見直しによる増
(3)小中学校期に対する歯科保健の啓発	自 0	自 150	△ 150	事業内容見直しによる減
3 オーラルフレイル予防啓発【新規】				
(1)医療関係団体との協働によるイベント	自 58	自 0	58	新規事業による増
(2)地域保健関係者への研修	自 144	自 0	144	新規事業による増
4 地域のつながりを通じた口腔衛生の向上				
(1)歯っぴいサポート	自 229	自 138	91	事業拡充による増
事業費合計				
	1,400	1,183	217	
内 自主企画事業費	1,400	1,183	217	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

・保土ヶ谷区3歳児健診 むし歯罹患率 ()内は18区中の順位 単位 (%)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
保土ヶ谷区	14.02 (13)	15.18 (15)	14.10 (16)	12.74 (14)	10.75(13)
市平均	12.95	12.49	10.95	10.50	9.30

・妊婦歯科検診受診率 (H29)
市平均 36.7% 保土ヶ谷区 34.9% (18区中8位)

・歯周病健診 (H29)
受診率 市平均0.45% 保土ヶ谷区0.88% (2位)
受診結果が「歯周病要治療」者 77.9% (18位)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	青木 かの子	長澤 昇平	今野 奈緒

[保土ヶ谷区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成30年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
ほどがや元気づくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2
15	3

事業評価書番号	35
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,380					4,380
前年度	4,168					4,168
増△減	212	0	0	0	0	212

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費			2,068
決算 メリット+一般財源			2,068
予算 事業費			2,014
決算 メリット+一般財源			2,014

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	4,330	4,330
決算 一般財源	4,330	4,330

方針に関する決裁種別()
 有:件名()、日付(年 月)
 (無)

事業の概要(目的)	「働き・子育て世代」(30~50代)中心とした区民へ健康に関する情報提供やきっかけづくりをすることで、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

- 健康寿命を延伸するためには、高齢期前の働き・子育て世代の時期からの健康に資する取組が重要となる。
- 働き・子育て世代が、生活習慣病予防のために健康に対する意識を高めていただくことで、多世代に対する波及効果が期待できる。
- 働き・子育て世代は多忙な生活の中で、運動習慣や健診受診が、他の年代に比べて少ない。
- 栄養、食生活の面では、朝食の欠食・野菜不足等の栄養の偏りといった食生活の乱れが多い。
- 60代において糖尿病の指標数値が市全体に比べ有意に高い状況(衛研, H27.3.9資料)
- 保土ヶ谷歯っぴいHealth事業と連携して実施することで、働き・子育て世代に向けた歯周病予防の取り組みを充実させることが期待できる。
- 本人が体調変化を直接感じない間は、自身の健康に関心を持ちにくく、生活習慣病のリスクが高まっている。
- 多忙な生活、多様なライフ・スタイルの中で区役所からの健康情報が届きにくいという特徴がある。
- 従業員50人未満の中小企業は産業保健による支援が限定されるため、従業員は健康に関する情報が得づらい。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	8 その他		
-------------	-----------	-------	--	--

2 運営方針等との関係

令和元年度保土ヶ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり

3 根拠法令・要綱等

健康増進法、地域保健法、母子保健法、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、横浜市中期4か年計画、健康横浜21、横浜市食育推進計画第2期

【実績の推移・今後見込み】

1 ほどがや元気情報の発信

	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み
情報誌「Hodogaya Healthcare Information」の作成・配布	4,000部	20,000部	35,000部
HPの再構成・コンテンツの充実	再構成	コンテンツの作成	コンテンツの充実
地形を活かした生活習慣病予防のウォーキングマップの作製		マップ作製(web上)	マップ作製(紙媒体)
身近な場所での健康PR		3か所	3か所
SNS等を活用した広告による情報発信			2か所

2 健康チェックを通じた健康啓発

	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み
子育て支援拠点等での講座(回)	1回	2回	3回予定
歯っぴい おやつクッキング※1		15組35人(6月)	3,000部
PTA向け健康講座(回)※2	1回	34人	2回予定
プレ更年期健康講座(回)	1回	1回	
企業・業界団体に向けた支援(回)※3	4回	1回	3回予定

花フェスタ	656人	646人	600人
親子健康まつり（保護者数）	75人	72人	100人
横浜国大文化祭（栄養関連）	1234人	336人（5月）	800人
横浜国大文化祭（喫煙・飲酒関連）	695人	781人（5月）	800人
区民まつり（栄養健康クイズ）	157人	10月予定	150人
区民まつり（がん検診啓発・禁煙啓発）	518人	10月予定	400人
区民まつり（ほ도가や元気づくりブース）	275人	10月予定	400人
乳がん・血圧の自己チェック（人）※4 （3歳児健康診査時）	897人	337人（8月時点）	2,000人

※1 R01年度は講義形式実施、R02年度から情報提供形式を予定

※2 プレ更年期健康講座と合体する予定

※3 H30・R01年度は出張健康講座を実施、R02年度は情報提供を予定

※4 乳がんのみ実施、血圧チェックはH30.8～実施

【実施内容】

働き・子育て世代の健康意識を高め、あらゆる機会を利用し、健康に関する情報提供や、健康チェック（体の機能や食生活チェック）を通じた健康づくりのPRを行う。事業開始3年目となるため、提供情報の追加や拡充を図るとともに、事業開始2年目に作成した啓発媒体を3年目は更に普及していくことを軸として進めていく。さらに、対象世代に対し、ニーズに合わせて、きめ細かい健康情報の提供や体験型の健康啓発を推進する。

1 ほ도가や元気健康情報の発信

働き・子育て世代の57.2%が健康に対する関心が低く、約80%が健康に資する取り組みができていない。そのため健康への興味・関心を高めるための情報提供を実施していく。事業開始3年目となるため、提供情報の追加や拡充を図るとともに、作成した啓発媒体の更なる活用を行う。配架先としては、健康不安を感じる際に利用する医療機関や働き子育て世代の生活に身近な場所である企業等を中心に拡大していく。支援教材として啓発媒体を活用できるように、HPのコンテンツと併せて充実を図る。

(1) 啓発媒体の作成と活用

ア 情報誌「Hodogaya Healthcare Information」の作成・配布【拡充】

季節性のある健康管理の方法や、健康づくりに興味を湧くような情報を掲載し、HPの閲覧を促すような季刊誌を作成配布する。

イ 「歯っぴい！おやつクッキング」パンフレットの作成・印刷【新規】

1歳6か月児健診から3歳児健診の間は、むし歯が増え、おやつに甘いものが増えるため、その時期をとらえ、子供と一緒に簡単な野菜を使用するおやつ作りを通して、おやつとむし歯の関係や栄養について啓発するパンフレットを作成する。併せて保護者自身の健康を振り返る機会となるよう啓発する。

ウ 健康啓発動画の活用とPR

健康づくりのホームページを通じた、見やすく親しみやすい健康情報の発信をするにあたりPRを行う。また、健康づくりの活動を体験する教材としても活用していく。

エ 地形を活かしたウォーキングマップの配布

(2) SNS等を活用した広告による情報発信【新規】

日々の生活で健康情報に触れる機会を増やすため、身近に利用するSNSや公共交通機関の広告を活用することで、情報提供を行う。また、働き子育て世代自身がインターネット等の口コミによって拡散することにより効果的なPRを図る。

2 体験型の健康講座と支援

(1) 未就学児の保護者向け子育て支援拠点等での健康啓発

子育て支援拠点などの既存の場を活用し、保護者が自分自身の健康状態に気づくことができるよう、簡単な健康チェックを実施する。腰痛や肩こりなどを改善するための情報提供を通じて、1日に必要な運動負荷などを紹介する。疎かになりがちな食生活を、こどもの食事の大切さとともに学んでいただく。更に歯周病予防などの健康啓発を実施する。

(2) 就学児の保護者向けプレ更年期講座

就学児の保護者はPTAを通じ、子どもの健康と共に自身の更年期を見据えて身体の変化に対して意識を向けてもらう。そのために、必要な健康上の留意事項や生活習慣改善に向けた健康啓発を実施する。

(3) 業界団体・区内企業向け支援

身近な職場が健康づくりに対する意識・関心が高くなることで、働き子育て世代にも波及的効果をもたらす。横浜健康経営の視点から、区内中小企業の従業員の生活習慣改善（運動・食生活、口腔衛生）に向けて、企業と協働しながら健康啓発を行う。具体的には、①啓発媒体を教材として提供し、②抱える健康課題に対して地域で支援を行う体制を整えていくことで、各業界団体・区内企業が健康づくりへの取り組むことを推進する。

(4) 各種イベントでの啓発

楽しみながら生活習慣の改善の必要性を理解を促し、健康づくりに関心を持ってもらうための啓発を行う。日常にプラスできて、継続しやすい運動習慣や食生活について直接的な支援を行う。

ア 花フェスタ

イ 横浜国大文化祭（年2回）

ウ 親子健康まつり

エ 区民まつり

オ 地域保健活動イベント

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 ほどがや元気情報の発信				
(1) 啓発媒体の作成と活用				
ア 情報誌「Hodogaya Healthcare Information」の作成・配布	自 448	自 434	14	増刷数量の見直しによる減
イ 「歯っぴい!おやつクッキング」パンフレットの作成・印刷	自 408	自 315	93	啓発手法の見直しによる増
ウ 健康啓発動画の活用とPR	自 279	自 1,050	△ 771	啓発手法の見直しによる減
エ ウォーキングマップの配布	自 158	自 100	58	啓発手法の見直しによる増
(2) SNS等を活用した広告による情報発信	自 640	自 200	440	啓発手法の見直しによる増
2 体験型講座と支援				
(1) 未就学児保護者向け	自 127	自 442	△ 315	啓発内容見直しによる減
(2) 就学児保護者向け	自 509	自 410	99	啓発内容見直しによる増
(3) 業界団体・区内企業向け	自 205	自 100	105	
(4) 各種イベントでの啓発				
ア 花フェスタ	自 26	自 25	1	増税に伴う増
イ 横浜国大(年2回)	自 767	自 611	156	啓発内容見直しによる増
ウ 親子健康まつり	自 192	自 78	114	啓発モデル買い替えによる増
エ 区民まつり	自 502	自 295	207	業務効率化のため増
オ 地区保健活動イベント	自 119	自 108	11	啓発内容見直しによる増
事業費合計	4,380	4,168	212	
内 自主企画事業費	4,380	4,168	212	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

健康に関する市民意識調査 (H25, H28)、区民満足度調査 (H24)、特定健診結果 (KDB; 協会けんぽ)、各種イベントアンケート、食育に関する市民意識調査 (H21, H24, H26)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	青木 かの子	長澤 昇平	田川 祥帆

[保土ヶ谷区 高齢・障害支援課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成25年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	輝けシニア！2025事業
-----	--------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1・4
17	2

事業評価書番号	36
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,429					1,429
前年度	643					643
増減	786	0	0	0	0	786

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,233	945	1,158	予算	事業費	1,429	1,429
	メリット+一般財源	1,233	945	1,158		一般財源	1,429	1,429
決算	事業費	1,154	886	661	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,154	886	661	有:件名()、日付(年 月)			

事業の概要(目的)	高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

保土ヶ谷区では、平均自立期間が市平均を下回っており、介護予防・認知症支援に力を入れ、健康寿命を延ばす取組が重要です。介護予防については、普及啓発に加えて、活動の場や担い手を増やす取組、誰でも参加できる活動への活性化支援が必要です。認知症支援については、病気への周囲の理解を深め、地域全体での見守りの輪を広げることが重要です。加えて、高齢社会においては、突発的な病気や怪我への対応や孤独死を予防するため、地域の見守り意識の醸成が重要となっています。

また、区行動指針に基づき、区民、関係者に向けた地域包括ケアシステムに関する普及啓発や、地域の特性を踏まえた課題の抽出を進めるとともに、地域包括支援センター職員等の人材育成が重要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係

令和元年度保土ヶ谷区運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」
横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた保土ヶ谷区行動指針

3 根拠法令・要綱等

高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、老人福祉法、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、横浜市元気づくり実施要綱、横浜市認知症支援事業、地域包括支援センターの設置運営について、横浜市高齢者を囲む地域福祉事業補助金交付要綱など

【実績の推移・今後見込み】

1 いきいき高齢者支援事業

(1) さらり シニア事業(元・2年度は見込)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
認定数	11	8	10	14	5	7
延べ数	68	76	86	90	95	100

2 認知症高齢者の支援

(2) 認知症サポーター・認知症キャラバンメイト数の推移

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
キャラバンメイト	223	243	266	275	290
サポーター(累計)	15,654	18,308	20,288	21,600	23,000

平成31年3月現在

3 老人クラブ会員数(各年4.1現在)

年度	28年度	29年度	30年度	元年度
クラブ数	131	132	129	126
会員数	7,819	7,970	7,767	7,590

【実施内容】

1 いきいき高齢者支援事業

(1) さらり シニア事業

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた保土ヶ谷区行動指針(以下「区行動指針」)に基づき、健康づくり、介護予防を推進し、健康寿命を延ばす取組を進めます。

- ・身近な介護予防拠点として「さらり シニア塾」の認定数を年目標区全体で7か所認定します。
- ・「さらり シニア塾」の事業評価を実施し、既存団体の把握支援、新規立ち上げ支援などの働きかけを行います。
- ・虚弱者や運動する機会の少ない方が広く介護予防活動に取り組むことができるよう「わがまち保土ヶ谷体操」の出張体験会や活動団体に対してCD・DVDを配布します。
- ・介護予防に役立つ体操等の普及啓発、認定証交付、認定団体紹介シートの作成とホームページへの掲載。
- ・広報掲載、庁内連携による効果的な周知を行います。

(2) 老人クラブ支援

増加しているひとり暮らし高齢者、認知症高齢者、高齢者のみの世帯が、地域の中で孤立せず、生きがいに満ちた人生を送るために、仲間づくりと生きがいづくりを促進する事業を老人クラブと共催で開催します。

- ・ことぶき大学(7月)、高齢者作品展(11月)、囲碁・将棋大会(1月)

- 2 地域包括ケアの実現
- (1) 認知症高齢者等支援事業
 認知症になっても、住み慣れたまちで暮らし続けることができる保土ヶ谷区を目指し、区民へ認知症の理解、対応、見守りに関する普及啓発を行います。
 ・キャラバンメイトと協力した認知症サポーター養成講座を継続的に実施します。
 (サポーター養成数目標：1,400人/年)
 ・医療機関やサポート医と連携した認知症講座を開催します。(区内5病院と連携して開催)
- (2) 見守り支援推進事業
 地域における見守り支援の意識の醸成を図るとともに、具体的な見守り支援策を地域が自主的に取り組むことができるよう支援します。
 ・希望地区に対して、見守り体制の強化を区が支援します。
 ・自主的な取組により具体策がまとまった地区に対して、初期対応に必要な物品の配布等の支援を行います。
- (3) 地域包括ケア推進事業
 区行動指針の推進のための普及啓発と次期改定(R2年度)に向けて区内7か所の地域ケアプラザで実施されている地域ケア会議等で挙げられた地域課題の解決に向けた取組を進めます。
 ・区民、関係者向けに区行動指針を活用した地域包括ケアシステムに関する普及啓発及び地域ケア会議等で挙げられた課題を抽出します。
 ・地域包括支援センター職員のスキルアップを目的に、地域ケア会議の振り返りを目的とした研修を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
きらり シニア事業	自 520	自 160	360	出張体験会の強化による増
老人クラブ支援	自 138	自 138	0	
認知症高齢者等支援事業	自 200	自 175	25	実績に基づく減、電動自転車購入増
見守りツール支援事業	自 450	自 0	450	新規事業
地域包括ケア推進事業	自 121	自 170	49	実績に基づく減
			0	
事業費合計	1,429	643	786	
内 自主企画事業費	1,429	643	786	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当担当 係
	岩井 裕子	関根 智宏	関根 智宏

[保土ケ谷区 子ども家庭支援課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成14年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	保土ケ谷区学齢障害児フレンドサポート事業
-----	----------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	37
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	689					689
前年度	689					689
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	929	789	789
メリット+一般財源	929	789	789
決 算 事業費	917	747	544
メリット+一般財源	917	747	544

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	689	689
一般財源	689	689

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	平成14年、障害児向けの公的サービスが充実していない時代に、障害児の余暇の充実を目的に補助事業として実施。近年、放課後等デイサービスなどの公的サービスは充実し、障害のある児童の外出先や親のレスパイトの機会は増えたものの、地域で成長し生活していくためには、身近なところでの障害児の理解が重要です。自立支援協議会子ども部会からも、参加のための移動支援、未就学の兄弟児の受け入れ、対象者への周知等が課題としてあげられました。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり
3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法、児童福祉法、保土ケ谷区学齢障害児フレンドサポート事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
18歳未満の障害者手帳(精神を除く)所持者数は年々増加し、今後も増加が見込まれます。
・手帳所持者数(身障/知的)
28年度末：768人(148/620) 29年度末：791人(150/641) 30年度末：806人(148/658)

【実施内容】
1 放課後事業(通年) 教室やレクリエーションを通じて放課後の障害児の交流の場を確保します。
内容：音楽教室月1回(通年放課後)、ダンスワーク月1回(通年休日) 実施者：地域活動ホーム
2 長期休み期間事業 障害をもつ児とボランティアが余暇活動をともに楽しみ、障害の理解につなげます。
内容：模擬店、教室、イベント等の実施 2回 実施者：地域ケアプラザ又は地域活動ホーム
3 休日事業 障害をもつ児と家族が、地域で交流の機会をもちます。
内容：外出及び模擬店、教室、イベント等の実施 回数：3回 実施者：地域ケアプラザ又は地域活動ホーム

対象者への事業の周知について、学校、サービス事業所、個別対応を通し周知に努めます。参加のための移動支援、未就学の兄弟児の受け入れについては、自立支援協議会子ども部会の中で協議していきます。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
放課後事業(通年)	自 340	自 340	0	
長期休み期間事業	自 184	自 184	0	
休日事業	自 150	自 150	0	
事務経費	自 15	自 15	0	
事業費合計	689	689	0	
内 自主企画事業費	689	689	0	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
横浜市統計書(身体障害者手帳交付状況、知的障害者「愛の手帳」(療育手帳)交付状況)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 飯田 常彦	係長 田中 貴子	子ども家庭係 田中 貴子
--------------------	-------------	-------------	-----------------

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ヶ谷区 高齢・障害支援課]

No. 34

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者地域支えあい連携推進事業
-----	-----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	38
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	987					987
前年度	1,017					1,017
増減	30	0	0	0	0	30

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	667	817	817	予 事業費	987	987
算 メリット+一般財源	667	817	817	算 一般財源	987	987
決 事業費	641	670	649	方針に関する決裁 種別()		
算 メリット+一般財源	641	670	649	有:件名()、日付(年 月)		
(無)						

事業の概要 (目的)	障害者支援関係機関の中心となる保土ヶ谷区地域自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援します。 また、当該協議会の部会活動として実施している、通所事業所等による自主製品販売の販路確保及び拡大を支援し、障害者の社会参加の機会拡大を図ります。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	障害児者が住み慣れた地域で、安心して生活をするために次の三つが必要です。 一人ひとりの障害児者に合った支援について話し合う場。 支援の質を向上させるための人材育成。 障害者の社会参加の機会拡大。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 つながり・支えあいの推進
3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法、障害者優先調達法、横浜市障害者地域自立支援協議会設置運営要綱、横浜市障害者区域自立支援協議会設置要領、保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
 保土ヶ谷区地域自立支援協議会開催実績及び開催見込み
 平成29年度 全体会1回、事務局会議5回、個別支援会議(部会)75回、研修2回、出前講座、通所事業所自主製品販売(毎日)等
 平成30年度 全体会1回、事務局会議5回、個別支援会議(部会)95回、研修2回、自主製品販売(毎日)等
 令和元年度(見込み) 全体会1回、事務局会議5回、個別支援会議(部会)85回、研修4回、出前講座、自主製品販売(毎日)等
 令和2年度(予定) 全体会1回、事務局会議6回、個別支援会議(部会)80回、研修4回、出前講座、自主製品販売(毎日)等

【実施内容】
 連携推進事業
 自立支援協議会に協議会全体会及び専門部会を7部会設置し、年間3～12回程度の活動を実施します。それにより関係機関同士の情報共有と支援の質の向上を図ります。
 ・施設や事業所等の職員を対象とした研修会を実施。
 ・事業所に通所する当事者の交流会等を実施。
 自主製品販売促進事業
 通所事業所等による自主製品販売の販路確保及び拡大を図り、障害者の社会参加の機会拡大と工賃向上を目指します。
 ・老人クラブボランティアの協力による区役所内販売の実施。
 ・保土ヶ谷駅、区民まつりや地元高校文化祭等への出張販売を実施(年1回)。
 ・販売促進につながる自主製品のブランド力の強化を実施。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
連携推進事業	自 465	自 495	30	事業の精査による減
自主製品販売促進事業	自 522	自 522	0	
			0	
事業費合計	987	1,017	30	
内 自主企画事業費	987	1,017	30	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 自立支援協議会全体会資料(各部会実績報告等)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩井 裕子	係長 川端 勇飛	障害者支援担当 川端 勇飛
--------------------	-------------	-------------	------------------

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	令和2年度
------	-----------	---------	-------	--------	-------

事業名	ほ도가や花のおもてなし事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1,5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	812					812
前年度	0					0
増△減	812	0	0	0	0	812

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費			
決算 メリット+一般財源			
予算 事業費			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	912	912
決算 一般財源	912	912

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)

事業の概要(目的)	障害のある方が作ったフラワーアレンジメントを保土ケ谷区役所の各窓口に展示します。それにより、地域・事業所・行政とのパートナーシップを高め、障害のある方の社会参加の機会を増やします。
-----------	--

(説明)				
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある方が地域で生き生きと生活するためには、障害のある方の社会参加の機会を更に拡大し、地域との関わりをより一層強化する必要があります。 ・ 障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター等（以下「事業所等」という）における受注作業及び工賃の向上を図る必要があります。 ・ 来庁者の満足度向上を図るため、各窓口を明るくし、華やかにする必要があります。 			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等			
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策：つながり・支えあいの推進			
3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法、障害者優先調達推進法、ほ도가や花憲章			
【実績の推移・今後見込み】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所の各窓口に飾る生花のアレンジメントを事業所等に委託します。 ・ 業務委託した事業所から、他事業所等に活動のネットワークを広げ、障害のある方の社会参加の機会を拡大します。 				
【実施内容】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 週1回、保土ケ谷区役所にアレンジメントをした生花の配達等を保土ケ谷区内にある事業所等が実施できるよう、調整等を含めた業務委託を行います。 				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
花の配達等	自 560		560	新規事業による皆増
アレンジメント指導料	自 204		204	新規事業による皆増
事務費	自 48		48	新規事業による皆増
			0	
			0	
事業費合計	812	0	812	
内 自主企画事業費	812	0	812	
訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	岩井 裕子	川端 勇飛	姉崎 礼美

[保土ヶ谷区 生活衛生課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	動物愛護・適正飼育 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成17年度
------	------------------------	---------	--------------------------	--------	--------

事業名	暮らしの衛生サポート事業
-----	--------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	4
35	6

事業評価書番号	39
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,357					1,357
前年度	1,066					1,066
増減	291	0	0	0	0	291

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	791	670	1,170	予算	事業費	1,350	1,350
	メリット+一般財源	791	670	1,170		一般財源	1,350	1,350
決算	事業費	997	703	1,170	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	997	703	1,170	有:件名(), 日付(年 月)			
(無)								

事業の概要 (目的)	生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすく啓発し、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援します。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>【食の安全支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、地域行事等で食事を提供する機会が増加しており、ボランティアで調理する従事者や施設への継続した衛生管理の支援が必要である。 ・食品関係施設へのHACCPによる自主衛生管理の導入推進は、中期4か年計画の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」の主な施策となっているが、作成する記録が多いことから事業者の多くに負担感が生じている。具体的な記録の作成方法の教示や食品衛生協会が選出したHACCP推進委員への支援が必要である。 <p>【生活衛生情報発信事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年の市内での食中毒発生は52件と過去10年で最も多く、一般区民（消費者）及び調理従事者それぞれに、必要な食中毒予防のための情報や知識を効果的に広報していく必要がある。 ・猫に関する苦情・相談については、地域で飼い主のいない猫に不妊去勢手術を施して、飼育をする「地域猫」の取り組みを広めることで、ここ数年間は減少することができている。しかし、依然として複数の地域では取組が実施されず、解決に至っていない。すでに取組を実施している地域への支援を継続するとともに、成功事例を他の地域へ共有するなどして、解決に向け支援する必要がある。 <p>【災害時の衛生対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点へ配備した「健康・衛生管理掲示物」は、活用方法について継続したPRが必要である。 ・地域防災拠点でのペット同行避難の円滑な受入体制づくりは、中期4か年計画の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進）」の主な施策でもあり地域でも課題として認識されてきている。より多くの飼い主へ日ごろの備え（迷子札の着用やしつけ）を効率的に啓発するとともに、地域防災拠点でのルールづくりのため、ペットを飼っていない住民への周知も継続していく必要がある。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	5 区民アンケート	6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「暮らしの安全・安心の確保」		
3 根拠法令・要綱等	食品衛生法、狂犬病予防法、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、横浜市スズメバチ等対策実施要領、横浜市居住衛生対策業務実施要領、薬機法、横浜市防災計画		

【実績の推移・今後見込み】	<p>1 食の安全支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動で食品提供に関わる方々に対し、食中毒予防のための手洗い方法や調理器具の清浄度をわかりやすく伝える講習会（食品衛生協会の手洗いマイスターとの協働）の実施（21回 475人）（30年度） ・地域行事の食中毒予防リーフレット作成、配布（3,000枚）（30年度）、修正・増刷（1,000枚）（元年度見込み） ・「HACCPによる衛生管理」実践研修会の実施（20名参加）（30年度） <p>2 生活衛生情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代をターゲットとしたカンピロバクター食中毒予防講習会（5回）（元年度見込み） ・食中毒・感染症を防ぐ衛生的な手洗い動画作成・講習会での活用（30年度） ・広報よこはま区版や戸籍課モニターへ食中毒予防や犬・猫の適正飼育、災害時ペット対策等の情報を掲載 ・地域振興課と連携した地域課題講座「はくぐみ塾」へ講師として参加（3回）（30年度） ・地域猫に関心のある自治会・町内会を対象とした猫対策に関するアンケートを実施（18回）、実施結果を分析して地域と共有し、飼い主のいない猫に対する捕獲及び不妊去勢手術の支援の実施（30年度）
---------------	--

- 3 災害時の衛生対策事業
 ・「健康・衛生管理掲示物」の地域防災拠点への周知・掲示物を使用した訓練の実施（27拠点中17拠点実施）（30年度）
 ・災害時ペット対策をテーマとした減災運動推進大会を総務課と共催で実施（300名参加）（30年度）
 ・地域防災拠点運営委員会や防災訓練へ参加し災害時ペット対策に関する啓発実施（8拠点）（30年度）、（18拠点）（元年度見込み）
 ・災害時のペット一時飼育場所を開設するための器材一式をセットにしたファーストミッションボックスを2拠点へ配備（元年度見込み）
 ・ペットの災害対策に関するクリアファイルを獣医師会と協働で作成し、獣医師会会員の動物病院や狂犬病予防接種出張会場等で配布（2,000枚）（30年度）
 ・クリアファイルを増刷し、ペットショップや地域防災拠点管理運営委員会、総会、訓練等で配布（7,000部増刷し配布完了予定）（元年度見込み）

区民向け講習会	29年度実績	30年度実績	元年度見込み
回数（人数）	6回 （209人）	21回 （471人）	15回 （250人）
広報よこはま掲載	7回	8回	8回
監視指導時の啓発資料配付	2,000枚	2,000枚	2,000枚

食品衛生責任者講習会	29年度実績	30年度実績	元年度見込み
回数（人数）	10回 （819人）	9回 （931人）	10回 （850人）
猫対策に関する自治体アンケート	18回	15回	15回

【実施内容】

1 食の安全支援事業

(1) 食品提供における衛生管理の支援

対象：区内みんなの食堂（こども食堂・地域食堂）

実施内容：食中毒を予防するため、区社協や支援するNPO団体と協働し、各食事提供場所の衛生管理状況の確認や器具の清浄度調査・助言を行い、自主衛生管理を支援する。

(2) HACCP導入支援

対象：食品等事業者

実施内容：食品衛生責任者講習会や許可更新調査を利用し、食品関係事業者に対して、HACCP導入方法についてのチラシ配布や計画書、記録作成の支援を継続して行う。

2 生活衛生情報発信事業

(1) 食中毒予防の普及啓発

対象：区民

実施内容：食中毒予防啓発物品（ウエットティッシュ）を作成し、区民まつりで手洗いの重要性を呼びかけ、配布する。また、他課や他団体と連携し、食中毒予防や手洗い指導の出前講習を継続して実施する。

(2) 犬・猫の適正飼育推進事業

対象：飼い主のいない猫を捕獲する自治会・町内会・区民

実施内容：地域猫に関する取組を実施して成功した自治会・町内会の紹介チラシを作成する。また、子猫の産まれる時期に、効果的な猫の捕獲ができるよう、捕獲カゴを複数台貸し出せる体制を確保する。

3 災害時の衛生対策事業

(1) 避難所「健康・衛生管理掲示物」の活用方法の検討

対象：地域防災拠点管理運営委員会

実施内容：新たに作成した掲示物活用シートや23種類の掲示物を防災訓練時で使用した際の感想についてアンケートを実施し、有識者と意見交換しながらより使いやすいものに改良する。

(2) 災害時のペット同行避難

対象：地域防災拠点管理運営委員・ペットの飼い主・その他区民

実施内容：過去のペット同行避難訓練の実施風景を利用した資料等を作成し、各拠点で取組するための動機付けを行う。その資料を使用して、防災の日（9月1日）等、毎年同じタイミングで繰り返し区連会や地域防災拠点連絡協議会を通じて周知、知識、理解の定着を図る。ファーストミッションボックスをペット同行避難実施予定の拠点に配備する。（5拠点）

対象：ペットの飼い主

実施内容：獣医師会と協働で作成した啓発グッズ（迷子札、クリアファイル）を地域防災拠点訓練や動物病院、ペットショップ等で犬・猫・その他の多種多様なペットの飼い主向けに配布し、迷子札の着用や災害時ペット対策の重要性をPRする。また、効果的なPRをするため、チラシ配布に加え講演会の開催を実施する。犬の飼い主向けの適正飼育に関するチラシを、狂犬病予防注射や登録時に配布する。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食の安全支援事業	自 153	自 183	30	啓発手法の見直しによる減
生活衛生情報発信事業	自 435	自 225	210	啓発拡充による増
災害時の衛生対策事業	自 769	自 658	111	啓発拡充による増
			0	
			0	
事業費合計	1,357	1,066	291	
内 自主企画事業費	1,357	1,066	291	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

食中毒統計、犬の登録頭数、地域防災拠点数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生・環境衛生 係
	榑崎 佳代子	高橋直矢・山田剛久	高橋直矢・山田剛久

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[保土ケ谷区 福祉保健課]

No.	37
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名
保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1

事業評価書番号	40
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	923					923
前年度	2,089					2,089
増減	1,166	0	0	0	0	1,166

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	901	600	1,303	予算	事業費	923	923
	メリット+一般財源	901	600	1,303		一般財源	923	923
決算	事業費	1,412	356	760	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	1,412	356	760	有:件名()、日付(年 月 日)			

事業の概要(目的)	第3期保土ケ谷ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画)(計画期間:平成28年から令和2年まで)を推進します。また、庁内で連携するとともに、それぞれの地域が、様々に抱える課題に対し主体的に取り組を進められるよう、地区支援チームが支援し、第4期計画を策定します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	地域を取り巻く社会状況が大きく変化し、地域のつながりが希薄化する中、既存の公的サービス等だけでは解決できない様々な課題が生じています。こうした課題の中には、身近な地域だからこそ見える課題もあり、「地域の課題は地域で解決していく」ことが求められています。そのためには、地域の課題や取組について、地域が主体となって検討を深めていくことが重要であり、検討の場の支援を行う地区支援チームがスキルを向上させることが不可欠です。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 4 地区懇談会 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度 保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支えあいの推進」
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法第107条、保土ケ谷区地域福祉保健計画

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	R2年度見込み
ほっとなまちづくり推進会議 開催回数	2	2	2	3	3
ほっとなまちづくり推進会議 参加人数	36	47	40	70	75
各地区の取組支援(地区の会合への出席等)	204	247	284	290	290

【実施内容】

1 地域福祉保健推進事業

- 地区別計画を推進するため、地区支援チームが地域の主体的な取組を支援します。
- 「ほっとなまちづくり推進会議」を3回(6月・10月・2月)開催し、第3期計画の推進と第4期計画策定について意見交換を行います。
- 地区支援チームの情報共有とスキルアップを図るため、会議・研修を実施します。
実施回数:リーダー会議3回(4月・9月・1月)、チーム研修2回(9月)

2 ほっとなまちづくりPR事業【新規】

- 第4期計画の策定について広く周知するため、地域情報誌に掲載します。
- 計画の認知度を高めるため、啓発グッズを製作します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域福祉保健推進事業	自 523	自 238	285	啓発拡充による増
ほっとなまちづくりPR事業	自 400	自 0	400	新規事業
区民意識調査事業	自 0	自 1,851	1,851	事業終了による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	923	2,089	1,166	
内 自主企画事業費	923	2,089	1,166	
内 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 青木 かの子	係長 藤村 綾香	事業企画担当 田中 基文
--------------------	--------------	-------------	-----------------

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域見守り推進事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	41
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,268					1,268
前年度	1,274					1,274
増△減	△ 6	0	0	0	0	△ 6

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	1,111	1,107	1,277
メリット+一般財源	1,111	1,107	1,277
決算 事業費	1,124	1,195	1,195
メリット+一般財源	1,124	1,195	1,195

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	1,277	1,277
一般財源	1,277	1,277

方針に関する決裁種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員(ボランティア)が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。 また、あんしん訪問員とともに地域の見守り等を行っている、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	民生委員・児童委員(以下、民生委員といいます。)は、地域住民の中から、地域の推薦を受け、厚生労働大臣により委嘱された非常勤特別職公務員で、地域の高齢や養育不安を抱える世帯の見守り、高齢者の家族などからの相談受付、通院や介護ニーズ等に対する専門機関へのつなぎなど、地域住民の生活を支える重要な役割を担っています。 しかしながら、高齢化率の上昇、ひとり暮らし高齢者数や児童虐待件数の増加に伴い、民生委員の見守りや相談支援が必要な世帯が増加、内容も、ごみ屋敷問題や生活困窮者支援、「ダブルケア」や「8050問題」など多様化・複合化し、負担が増えています。また、民生委員・児童委員には年齢要件があり、その範囲にある方の多くが、現役で就労していたり、育児・介護などがあるため、自治会・町内会は候補者推薦に苦慮し、欠員が生じるケースが増えています。 一方、高齢者のひとり暮らし世帯や高齢者のみ世帯の増加や、地域におけるコミュニティ意識の希薄化といった社会背景から、高齢者の安否確認や状況把握が困難な状況になっています。高齢者が地域や社会から孤立しないよう、地域における主体的な見守り活動の充実が求められています。
地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支えあいの推進」
3 根拠法令・要綱等	保土ヶ谷区あんしん訪問事業実施要綱、保土ヶ谷区あんしん訪問事業補助金交付要綱、保土ヶ谷区民生委員・児童委員協力員要綱、民生委員法、児童福祉法、横浜市民生委員の定数に関する条例、横浜市民生委員・児童委員(主任児童委員)推薦要綱、保土ヶ谷区地域福祉保健計画、社会福祉法

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
あんしん訪問 訪問世帯数	6,471	13,964(※)	23,258	24,000	24,000
あんしん訪問 訪問員数	673	655	669	680	690
区内70歳以上人口(毎年3月時点)	37,984	39,237	39,442	—	—

※平成29年度から、訪問以外の見守りも集計に追加したことによる増

	30年度末	元年度末見込
民生委員・児童委員協力員数	12	28

	H30年度	R元年度	差
保土ヶ谷区の高齢化率(65歳以上)(4月)	25.9%	26.2%	0.3%
保土ヶ谷区の75歳以上ひとり暮らし高齢者数(人)(4月)	8,687人	9,059人	372人
保土ヶ谷区の民生委員・児童委員充足率(7月)	94.6%	96.0%	1.4%

【実施内容】

- 1 あんしん訪問
 - (1) 地区推進委員会
 - ・あんしん訪問員（民生委員、老人クラブの友愛活動員など）の選出、地区研修会の実施等
 - (2) あんしん訪問事業
 - ・訪問員によるひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に対する継続的な見守り（訪問、電話、配食サービス、まちでの声掛け等）の実施
 - ・ひとり暮らし高齢者等について、本人同意を得た上での民生委員を通じ区及び地域包括支援センターへの情報提供
※区役所の役割
 - ・各地区推進委員会への事業費補助及び必要物品作成（PRカードや高齢者等連絡票、あんしんカード等、事業推進に役立つツールの作成）
 - ・訪問員のスキルアップ・情報共有を目的とした研修会、連絡会（地区推進委員会会長・副会長等が構成員）の開催
 - ・各地区推進委員会主催の研修会等への支援
- 2 民生委員・児童委員協力員
 - (1) 民生委員が協力員を希望する場合、民生委員1人に対し原則1人の協力員を配置
 - (2) 候補者は、希望する民生委員が自ら又は自治会・町内会長等からの紹介により選出し、地区民児協会会長や自治会・町内会長を通じて、区へ推薦。推薦に基づき、協力員を依頼（身分：ボランティア、無報酬、活動費（民生委員の約1/3）を支給、依頼期間：民生委員任期以内の1年（再任可））
 - (3) 平成30年7月から2か年度のモデル配置としたが、保土ヶ谷区におけるモデル試行の延長が市民児協で決定された。
- 3 民生委員・児童委員活動の広報・啓発
 - ・民生委員・児童委員の活動を広報・啓発するためのチラシ・ポスター・展示用パネルの作成

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
あんしん訪問事業	自 1,138	自 1,146	△ 8	単価の精査による減
民生委員・児童委員協力員	自 31	自 30	1	協力員増による増
民生委員・児童委員活動の広報・啓発	自 99	自 98	1	消費税増による増
事業費合計	1,268	1,274	△ 6	
内 自主企画事業費	1,268	1,274	△ 6	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営企画係
	青木 かの子	有泉 廣隆	田上 真人 児玉 亜希子